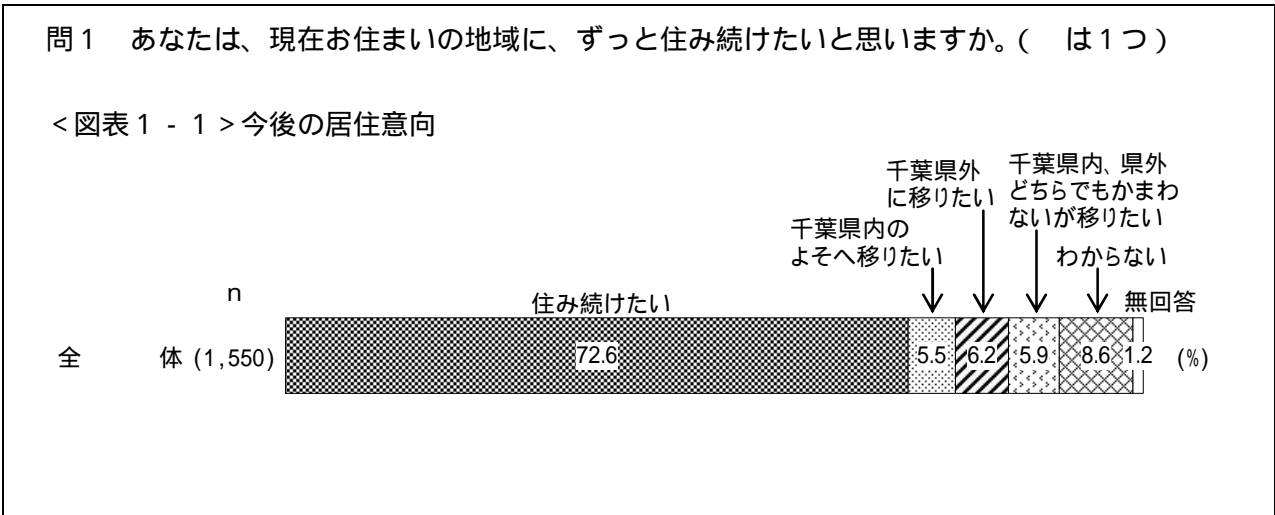


1 環境と生活について

(1) 今後の居留意向

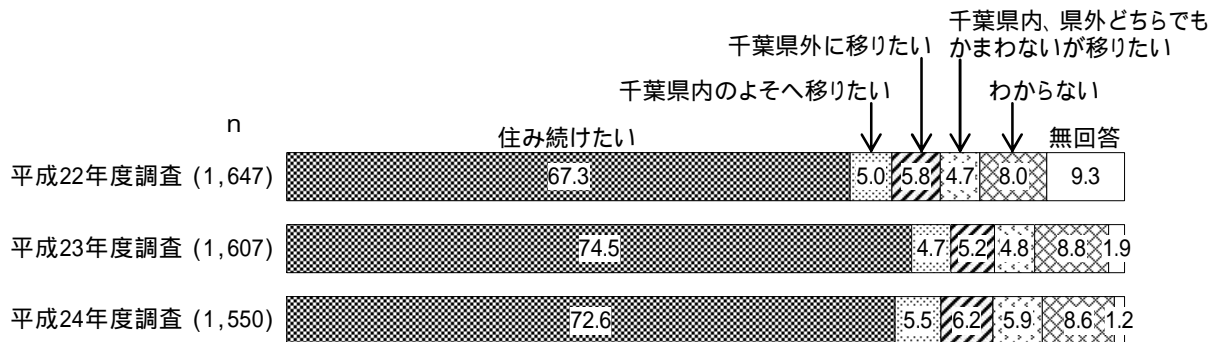
「住み続けたい」が7割を超える



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(72.6%)は7割を超えている。一方、「千葉県外に移りたい」は6.2%となっている。また、「住み続けたい」と「千葉県内のよそへ移りたい」(5.5%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(78.1%)は約8割となっている。

(図表1 - 1)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



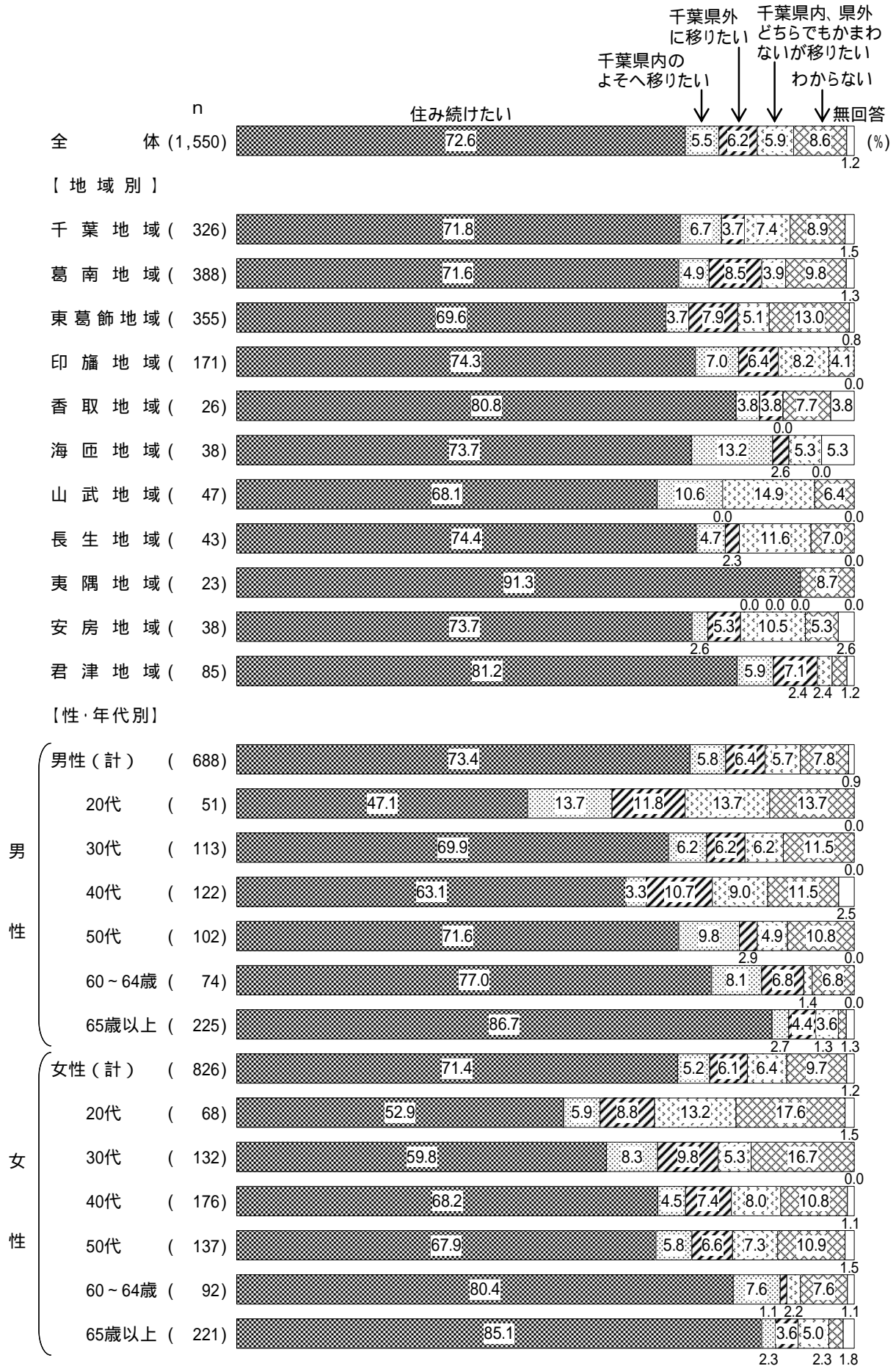
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“夷隅地域”(91.3%)が9割を超えて最も高く、“君津地域”(81.2%)、“香取地域”(80.8%)が8割以上となっている。(図表1 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(86.7%)と女性の60~64歳(80.4%)、65歳以上(85.1%)が8割以上となっている。(図表1 - 2)

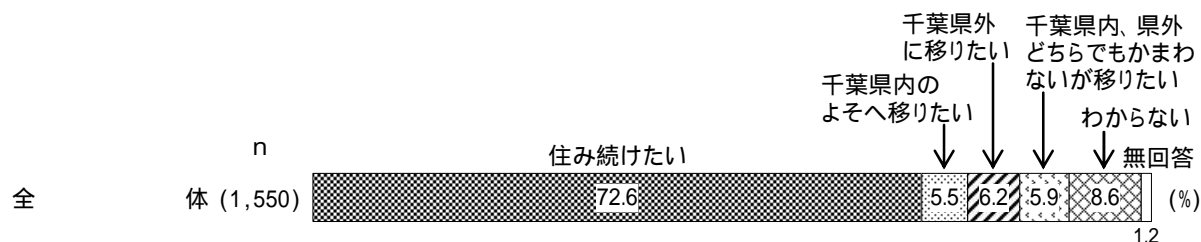
< 図表 1 - 2 > 今後の居留意向 / 地域別、性・年代別



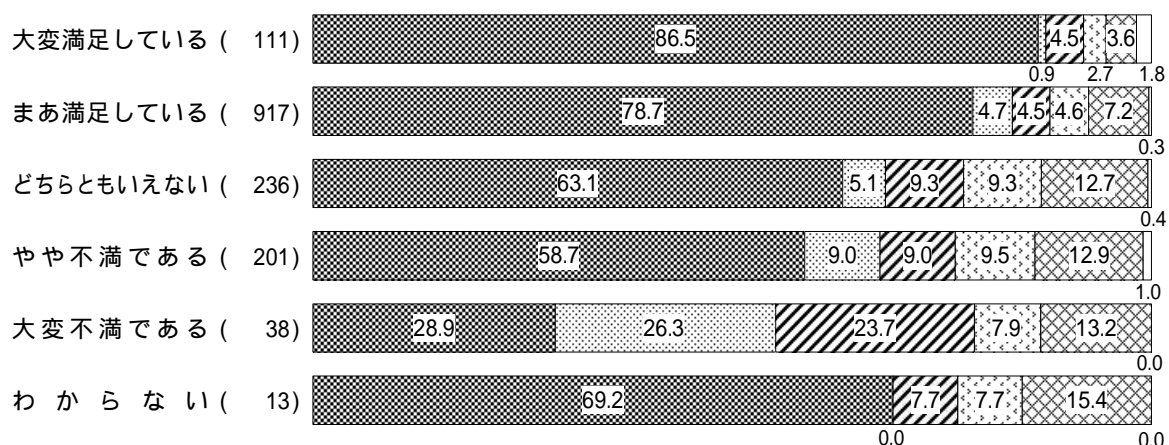
< 今後の居留意向と各環境の満足度 >

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

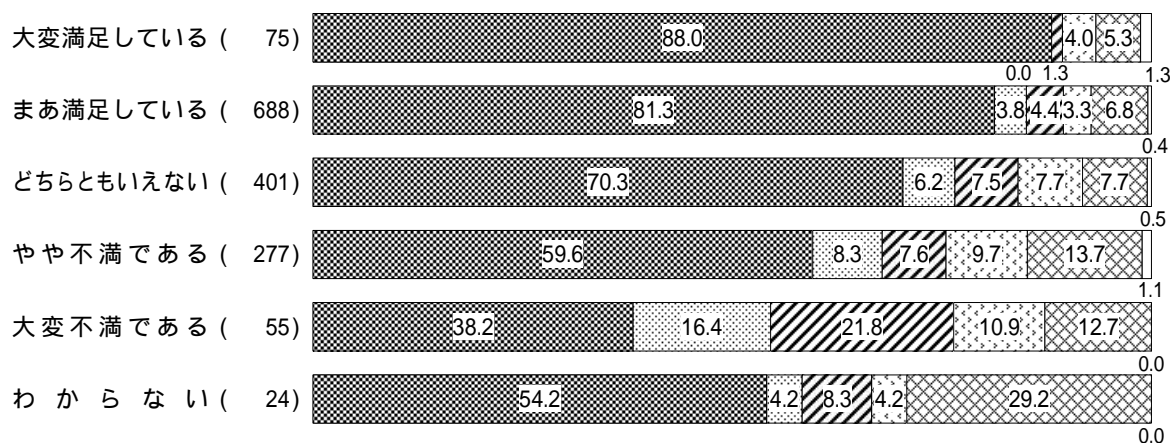
< 図表1-3 > 今後の居留意向と各環境の満足度



【生活環境全般の満足度(問3)別】



【自然・周辺環境全般の満足度(問5)別】



(1 - 1) 住み続けたい理由

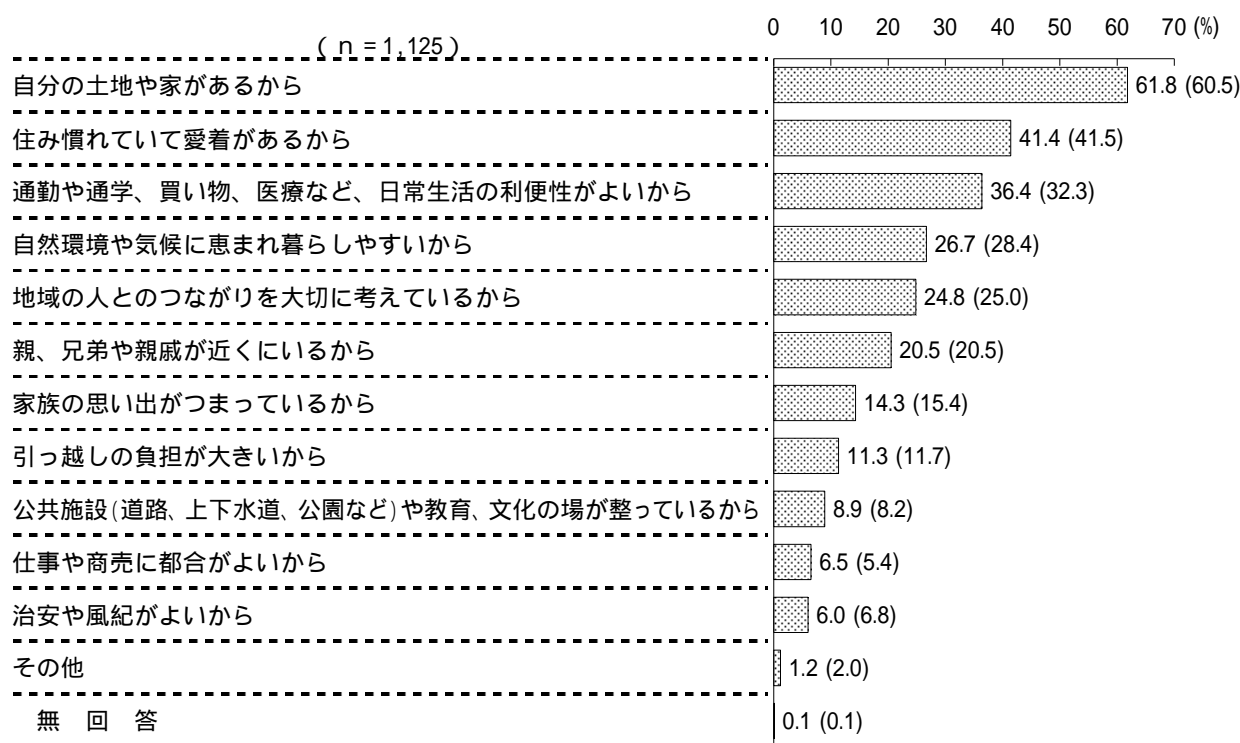
「自分の土地や家があるから」が6割を超える

(問 1 で「住み続けたい」とお答えの方に)

問 1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(は 3 つまで)

< 図表 1 - 4 > 住み続けたい理由 (複数回答)



注) () の数字は平成 23 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,198

「住み続けたい」と回答した1,125人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(61.8%)が6割を超えており、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(41.4%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(36.4%)が続く。

(図表 1 - 4)

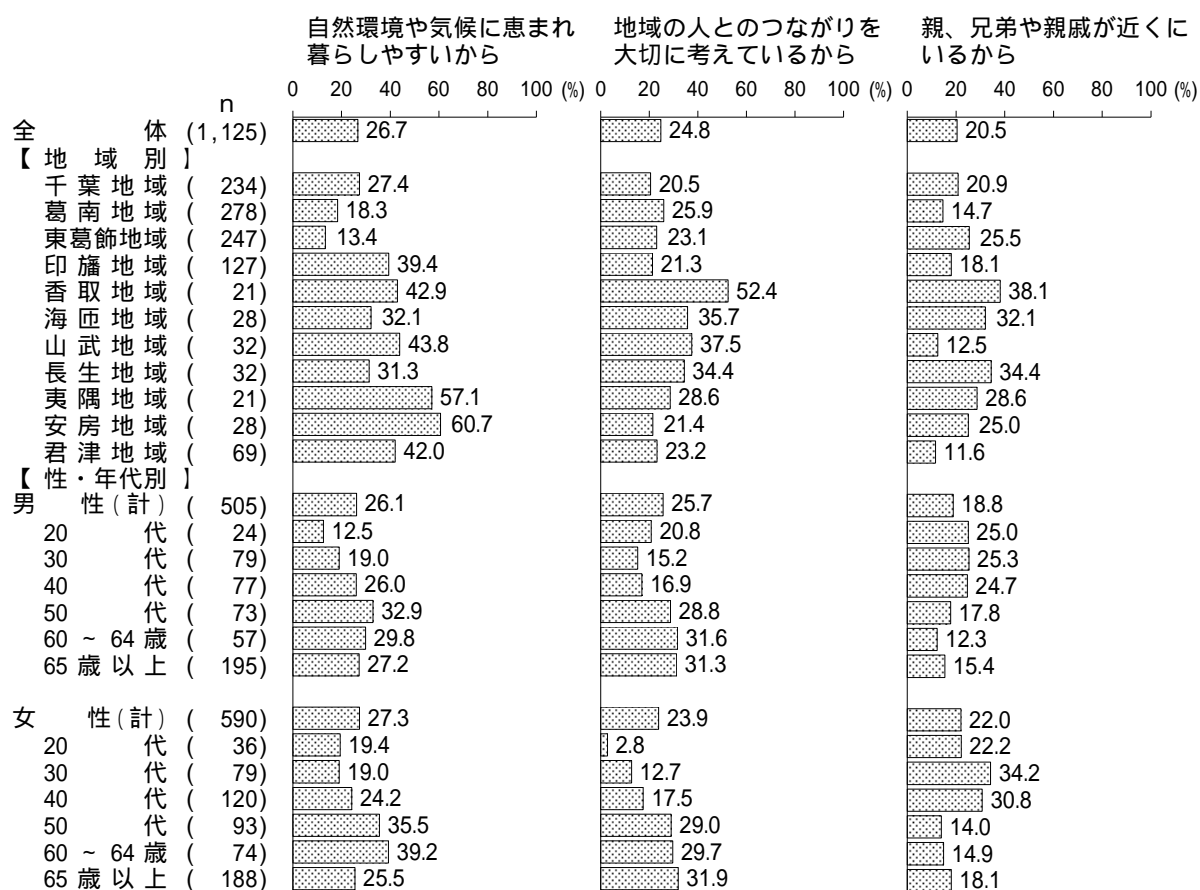
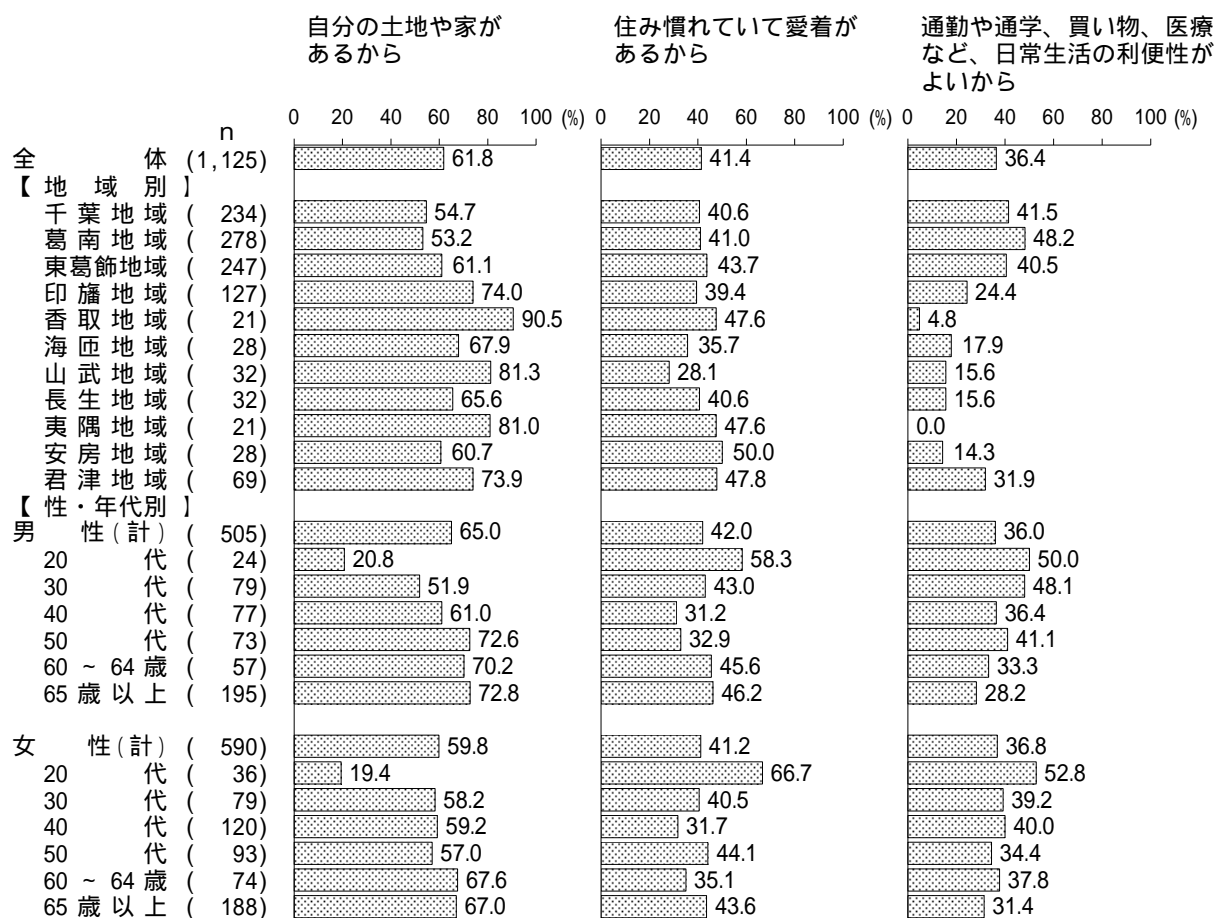
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“香取地域”(90.5%)が9割で他の地域に比べて高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(48.2%)が約5割、「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“安房地域”(60.7%)が6割、“夷隅地域”(57.1%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。(図表 1 - 5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の50代(72.6%)、60~64歳(70.2%)、65歳以上(72.8%)が7割以上で他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は女性の20代(66.7%)、男性の20代(58.3%)が他の年代に比べて高くなっている。(図表 1 - 5)

<図表1-5> 住み続けたい理由/地域別、性・年代別(上位6項目)



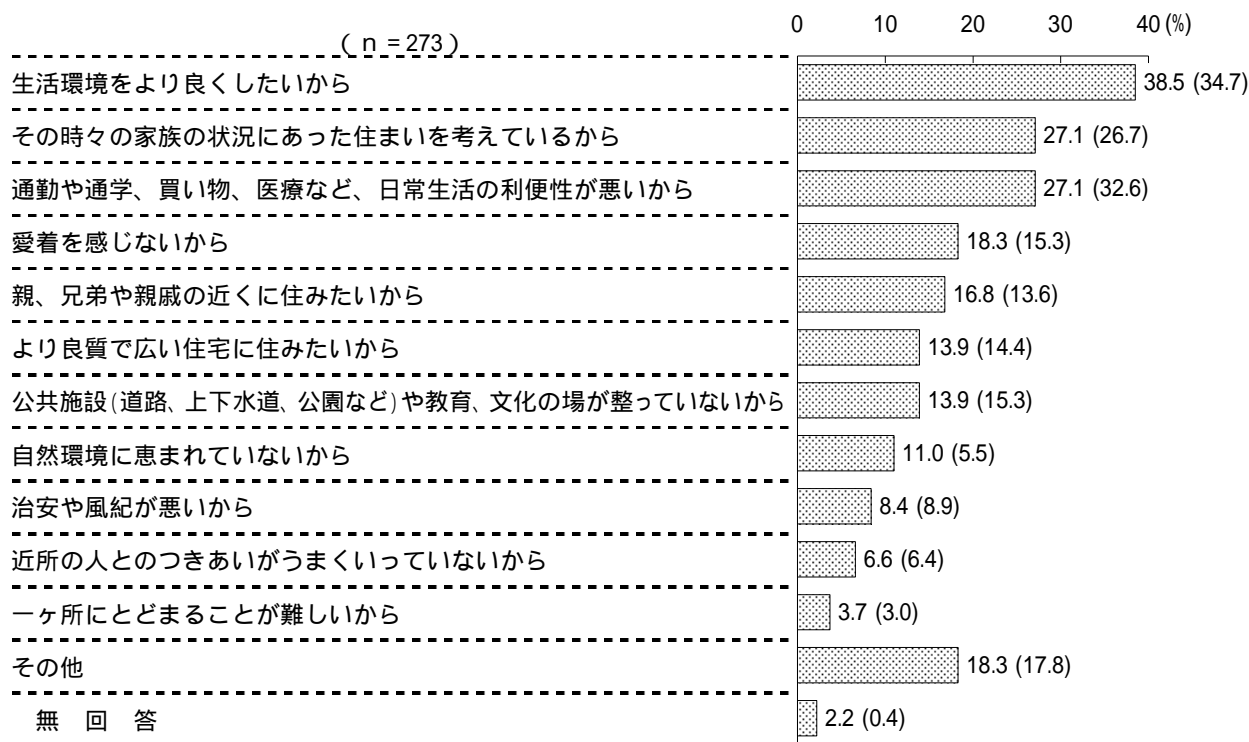
(1 - 2) 移りたい理由

「生活環境をより良くしたいから」が約4割

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな
いが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(は3つまで)

<図表1 - 6> 移りたい理由 (複数回答)



注) () の数字は平成23年度の同様の項目による調査結果 n = 236

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわな
いが移りたい」と回答した273人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境を
より良くしたいから」(38.5%)が約4割で最も高く、以下、「その時々家族の状況にあった住まい
を考えているから」(27.1%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(27.1%)
が続く。(図表1 - 6)

【地域別】

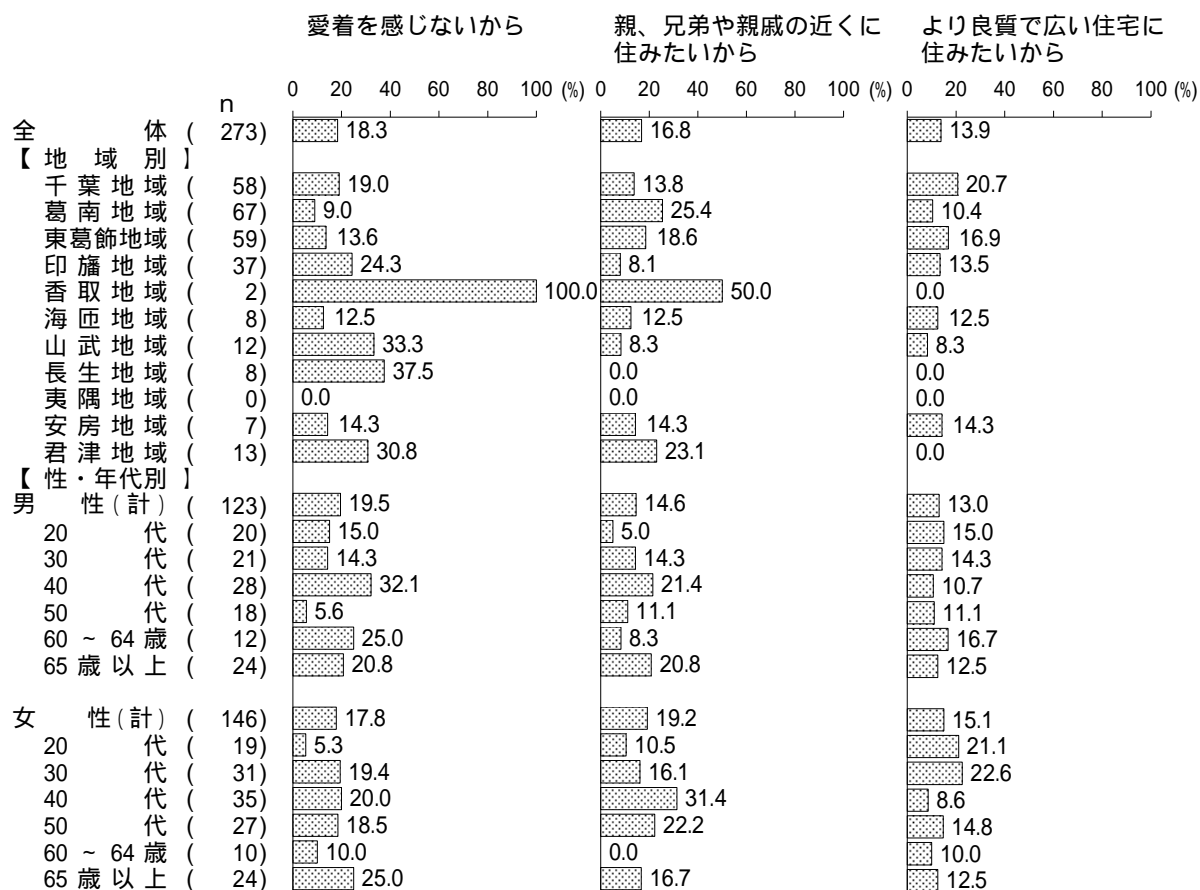
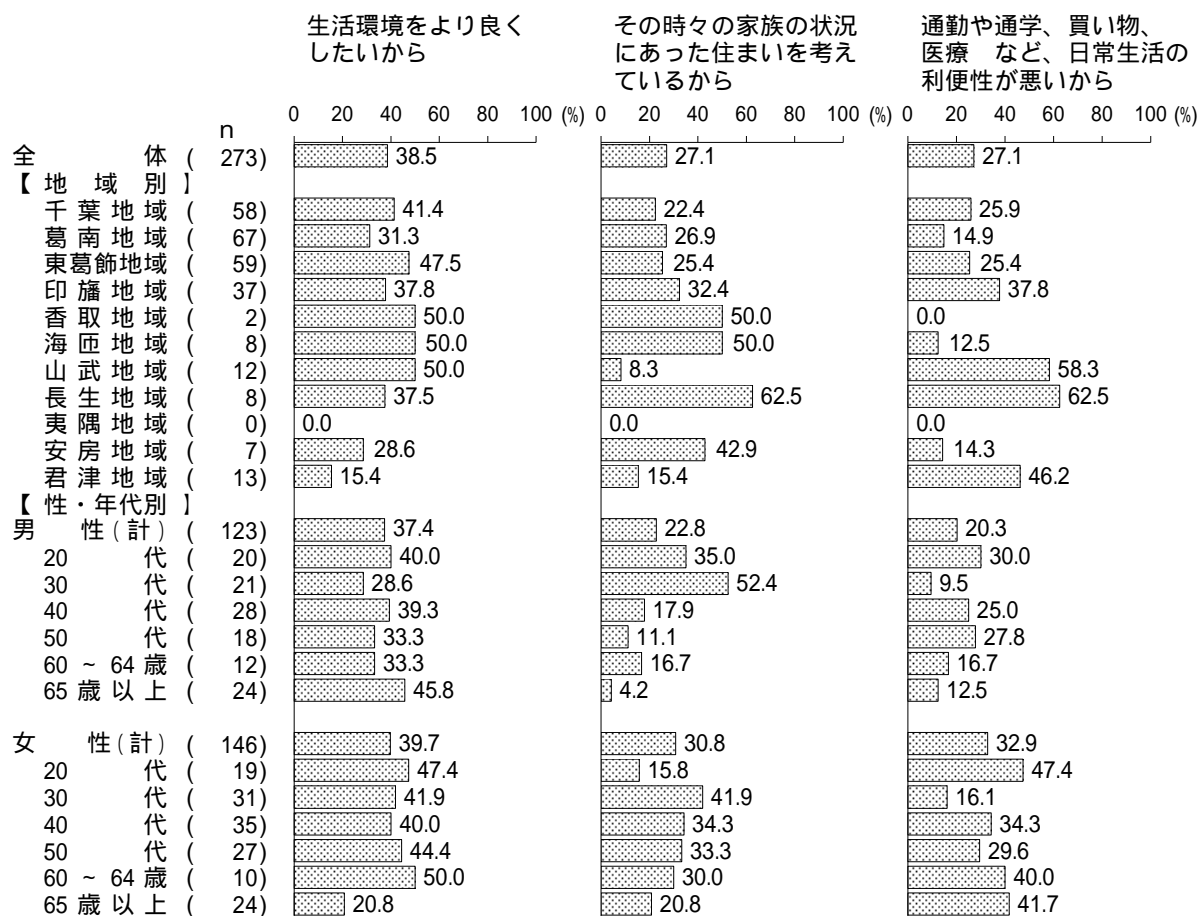
地域別にみると、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」は、「長生地域」
(62.5%)が6割を超えて高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪
いから」では、「長生地域」(62.5%)、「山武地域」(58.3%)が6割前後で高くなっている。

(図表1 - 7)

【性・年代別】

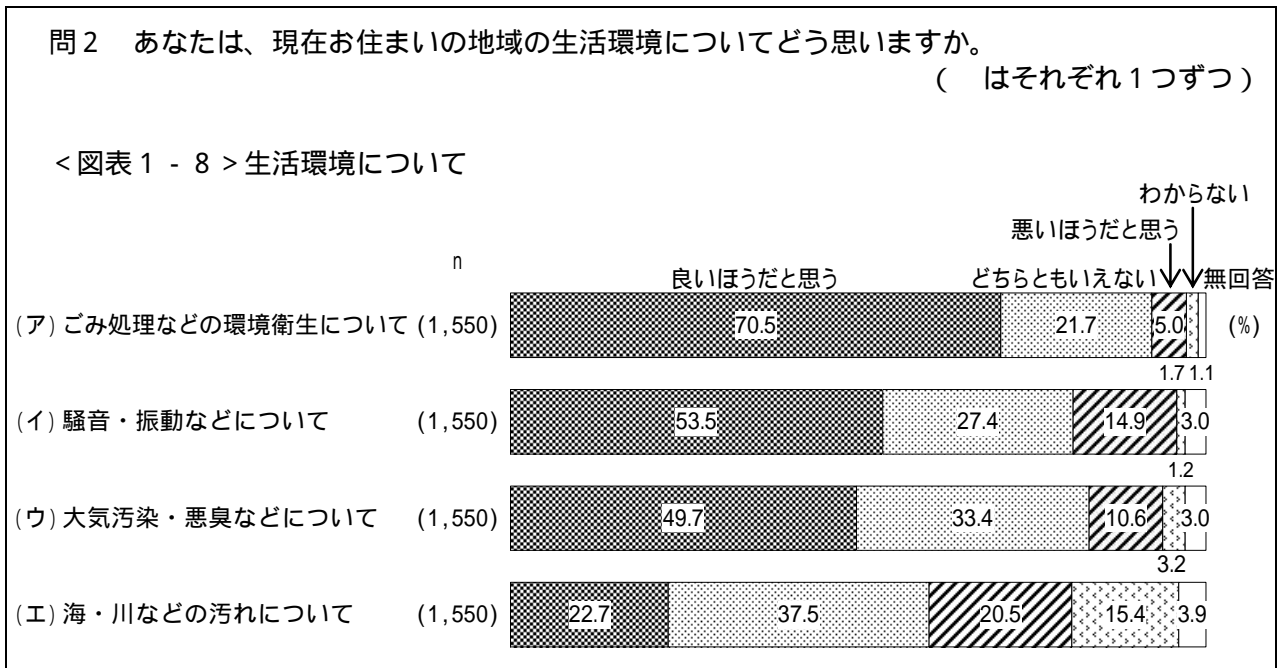
性・年代別にみると、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」は男性の30代
(52.4%)が5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1 - 7)

<図表1 - 7> 移りたい理由 / 地域別、性・年代別 (上位6項目)



(2) 生活環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは ごみ処理などの環境衛生について で7割



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、ごみ処理などの環境衛生について(70.5%)で7割となっている。以下、騒音・振動などについて(53.5%)が5割台半ば、大気汚染・悪臭などについて(49.7%)が約5割となっている。

一方、海・川などの汚れについては、「良いほうだと思う」(22.7%)と「悪いほうだと思う」(20.5%)の差はわずかとなっている。(図表1 - 8)

【地域別】

地域別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(75.4%)が7割台半ばとなっている。騒音・振動などについては、“夷隅地域”(91.3%)が9割を超え、大気汚染・悪臭などについても、“夷隅地域”(82.6%)が8割を超え、海・川などの汚れについても、“夷隅地域”(56.5%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 9)

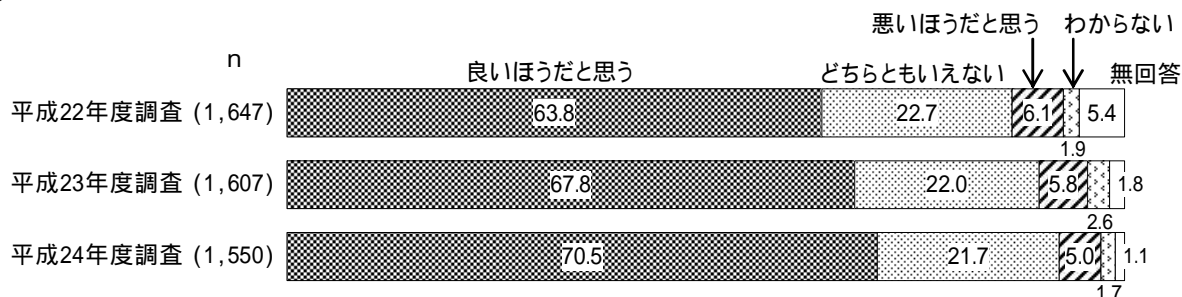
【性・年代別】

性・年代別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(80.4%)と女性の60~64歳(81.5%)が8割以上となっている。騒音・振動などについては、「良いほうだと思う」は女性の40代(62.5%)と男性の50代(61.8%)が6割を超えている。

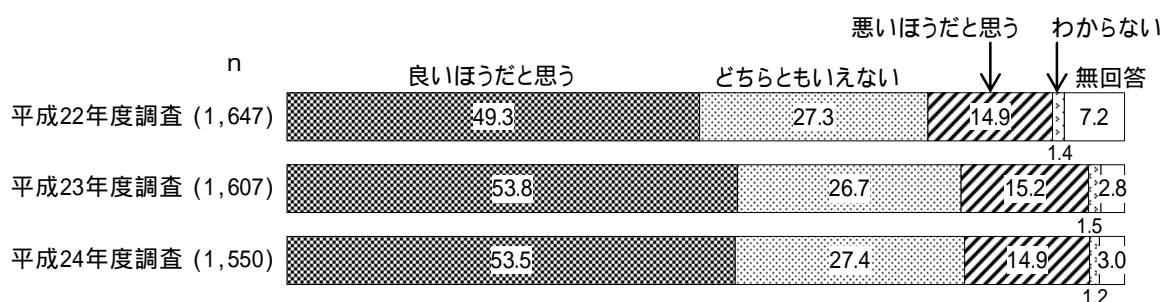
海・川などの汚れについては、「悪いほうだと思う」は男性の20代(37.3%)が約4割、女性の20代(36.8%)・30代(34.1%)が3割台半ばとなっている。(図表1 - 9)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

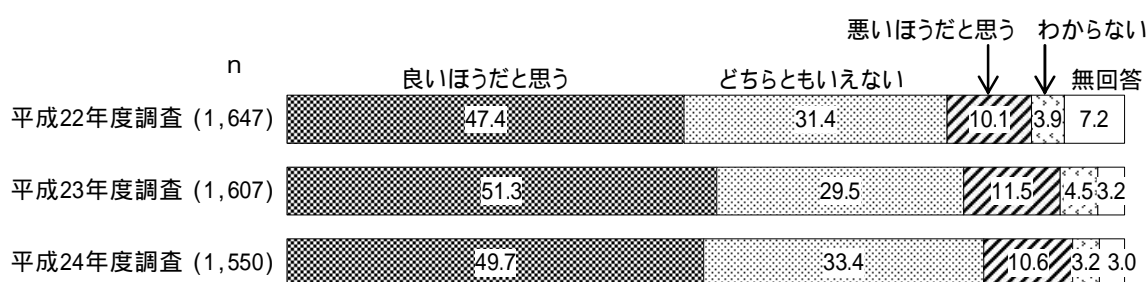
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



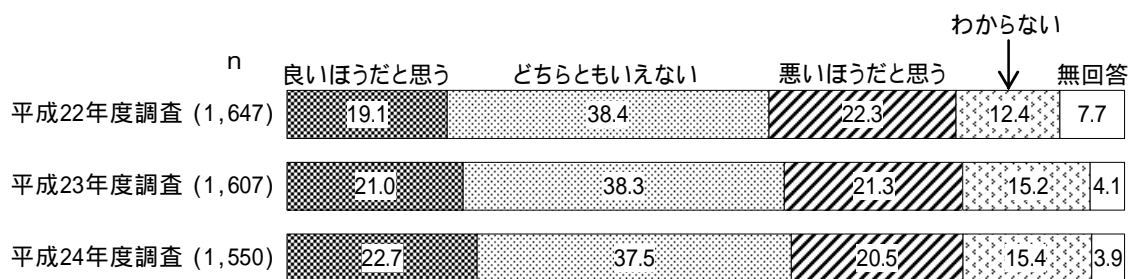
（イ）騒音・振動などについて



（ウ）大気汚染・悪臭などについて

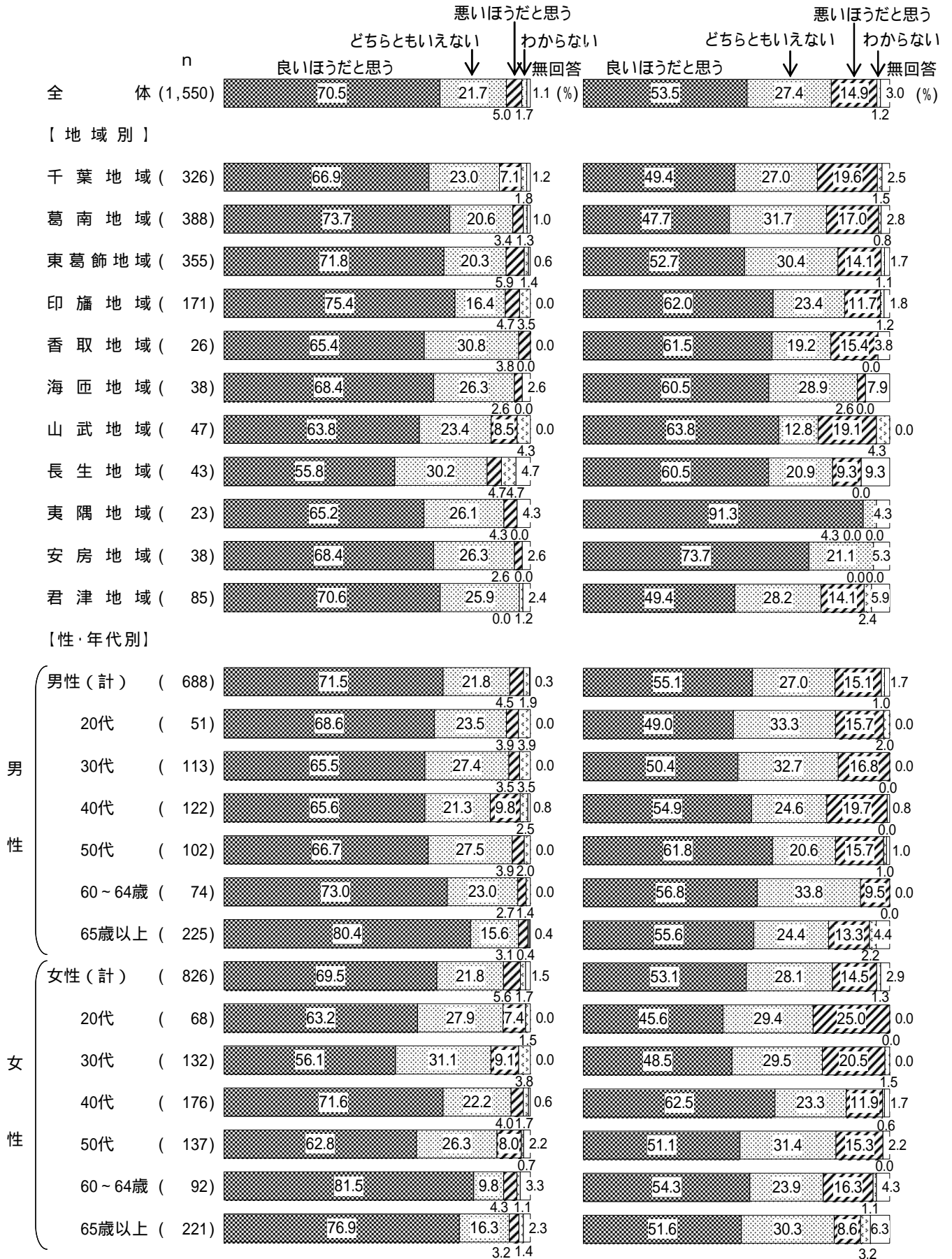


（エ）海・川などの汚れについて



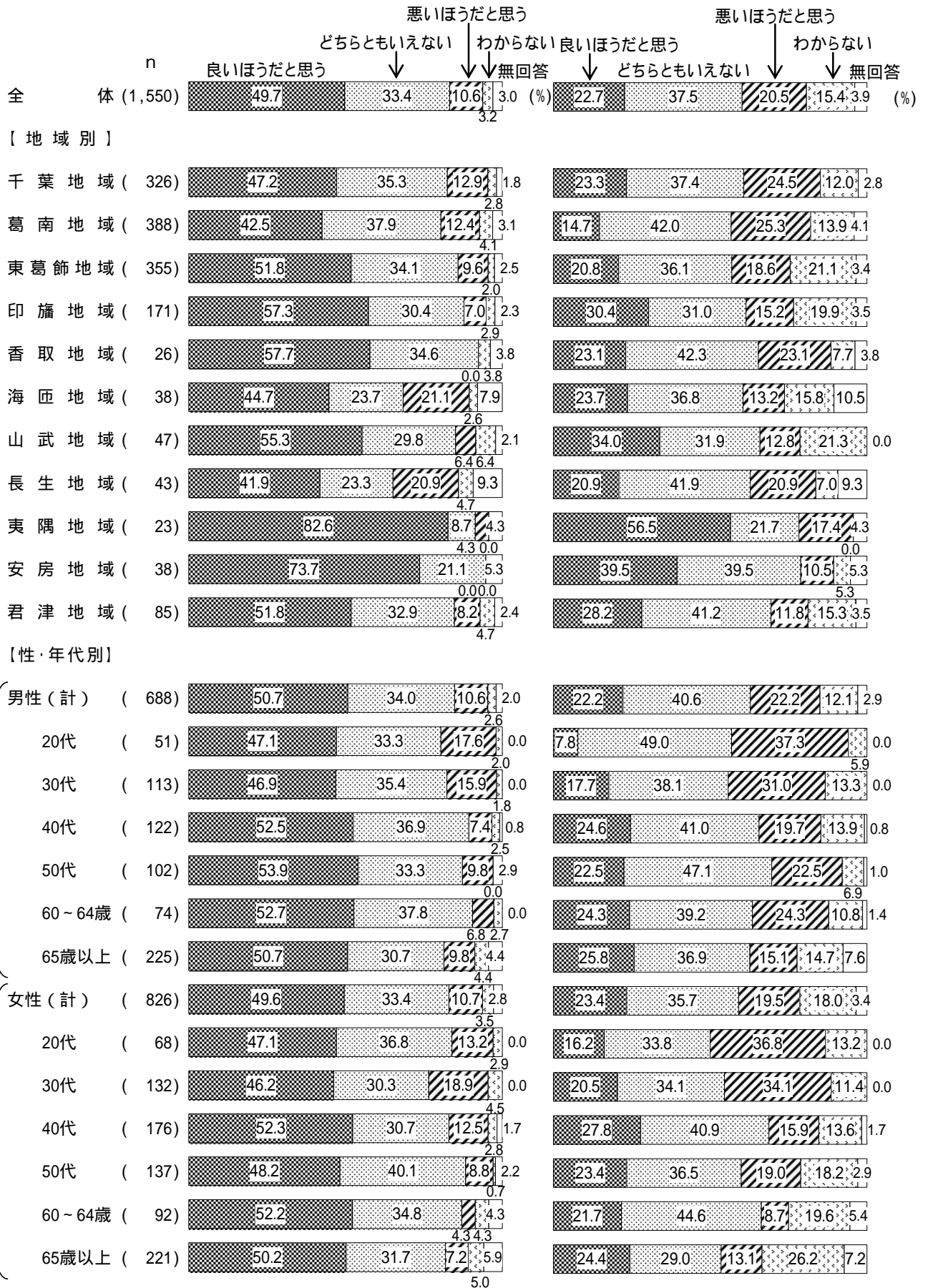
<図表1 - 9> 生活環境について / 地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

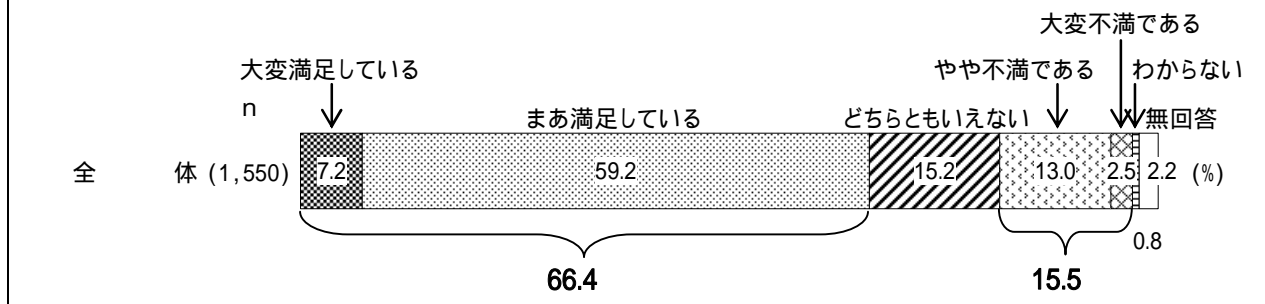


(3) 生活環境全般の満足度

『満足している』は6割台半ば

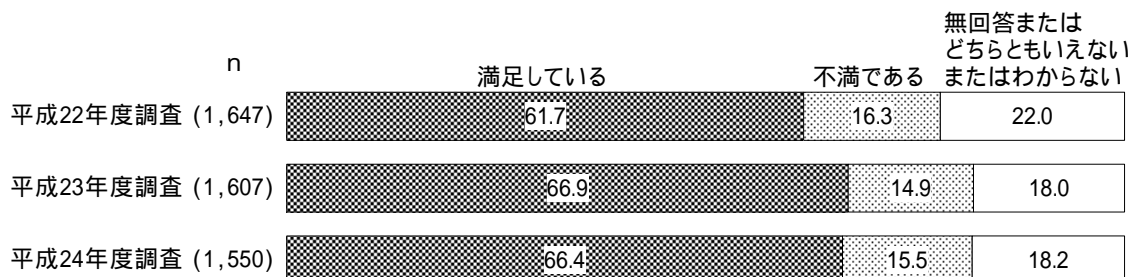
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。
(は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(7.2%)と「まあ満足している」(59.2%)を合わせた『満足している』(66.4%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(13.0%)と「大変不満である」(2.5%)を合わせた『不満である』(15.5%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



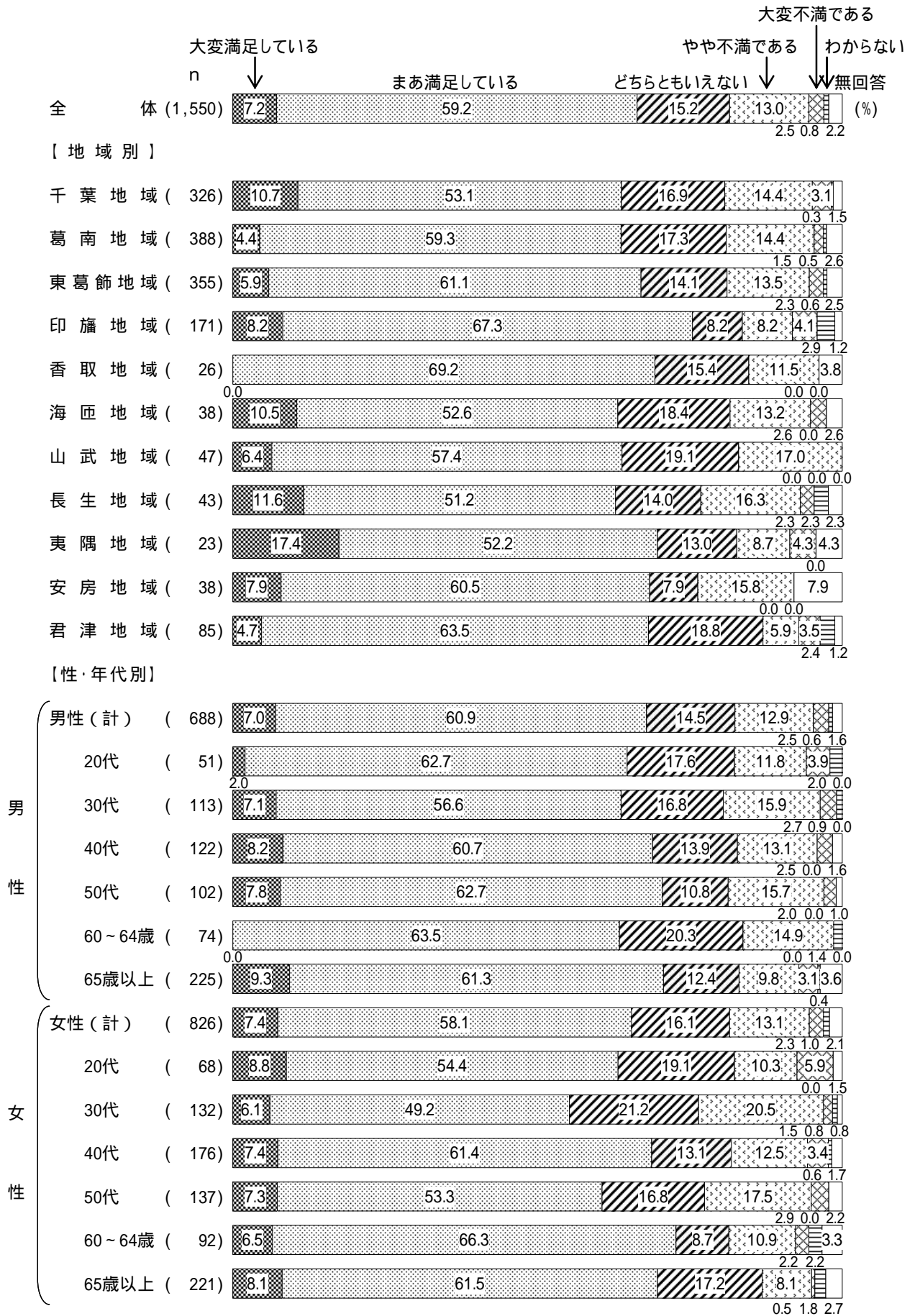
【地域別】

地域別にみると、『満足している』はすべての地域で6割以上となっており、特に“印旛地域”(75.5%)で7割台半ばと高くなっている。(図表1-11)

【性・年代別】

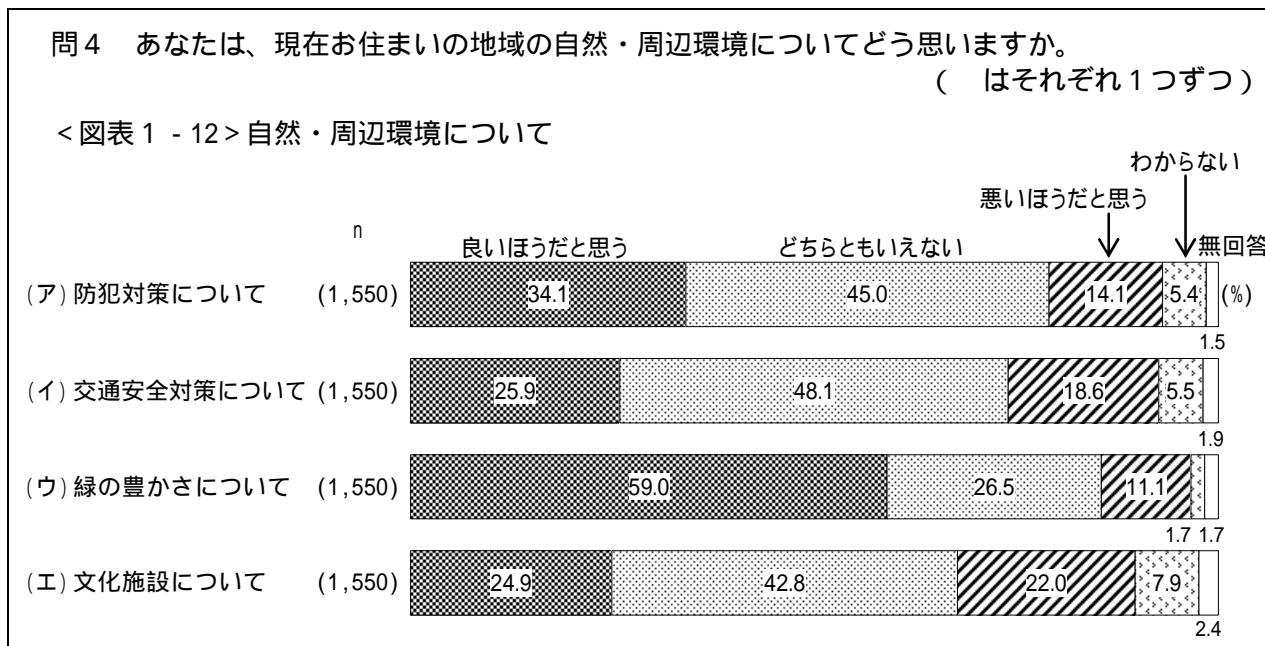
性・年代別にみると、『満足している』は女性の60～64歳(72.8%)が最も高く、以下、男性の65歳以上(70.6%)、男性の50代(70.5%)、女性の65歳以上(69.6%)と続いている。(図表1-11)

<図表1 - 11> 生活環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



(4) 自然・周辺環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて で約6割



自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて (59.0%) が約6割となっており、以下、防犯対策について (34.1%)、交通安全対策について (25.9%)、文化施設について (24.9%) が続く。

(図表1-12)

【地域別】

地域別に見ると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は「香取地域」(50.0%) が5割となっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は「香取地域」(42.3%) が4割を超えている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は「夷隅地域」(95.7%) が9割台半ばと高くなっている一方、「葛南地域」(42.0%) が4割台と低くなっている。文化施設についてにおいて、「良いほうだと思う」は「葛南地域」(30.2%) が3割となっている。

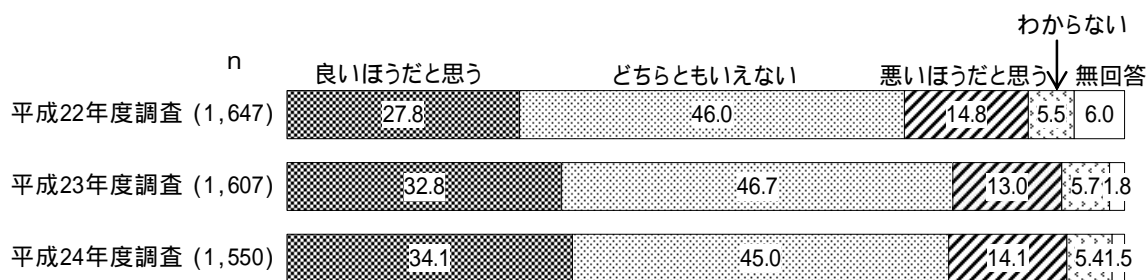
(図表1-13)

【性・年代別】

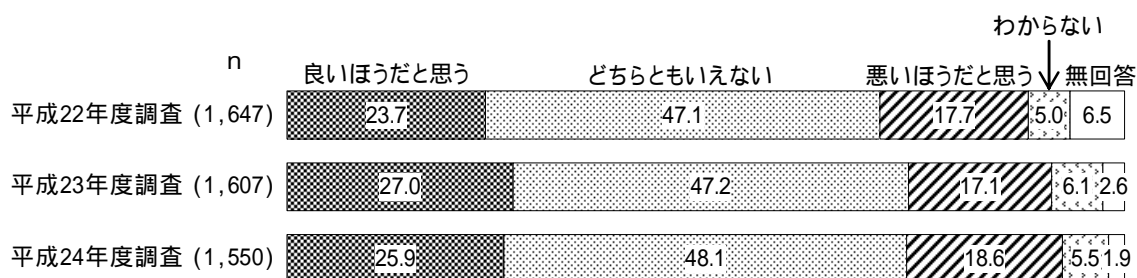
性・年代別で見ると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の60~64歳(54.3%) が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は女性の20代(27.9%) が約3割で最も高くなっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の60~64歳(38.0%) が約4割で最も高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の30代(34.5%) が3割台半ばで最も高くなっている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の60~64歳(71.7%) が7割を超えて最も高く、文化施設についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の60~64歳(38.0%) が約4割と最も高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

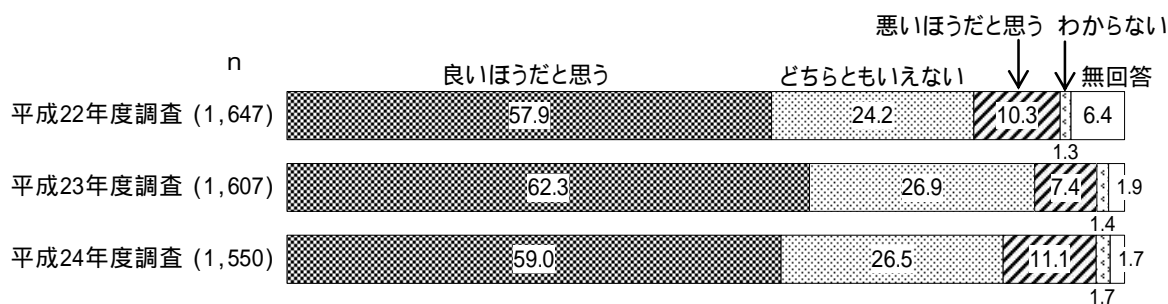
（ア）防犯対策について



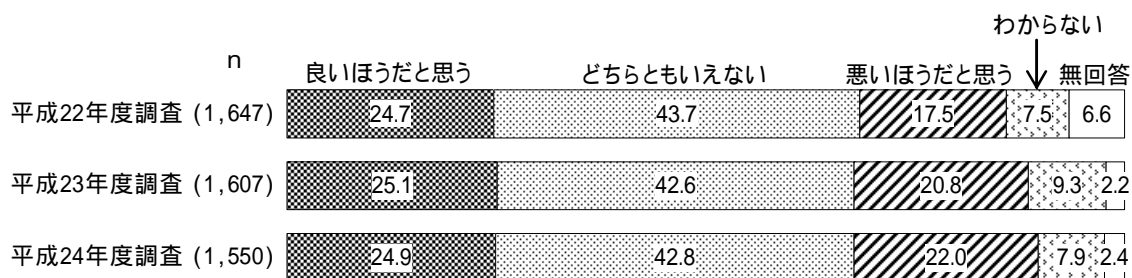
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



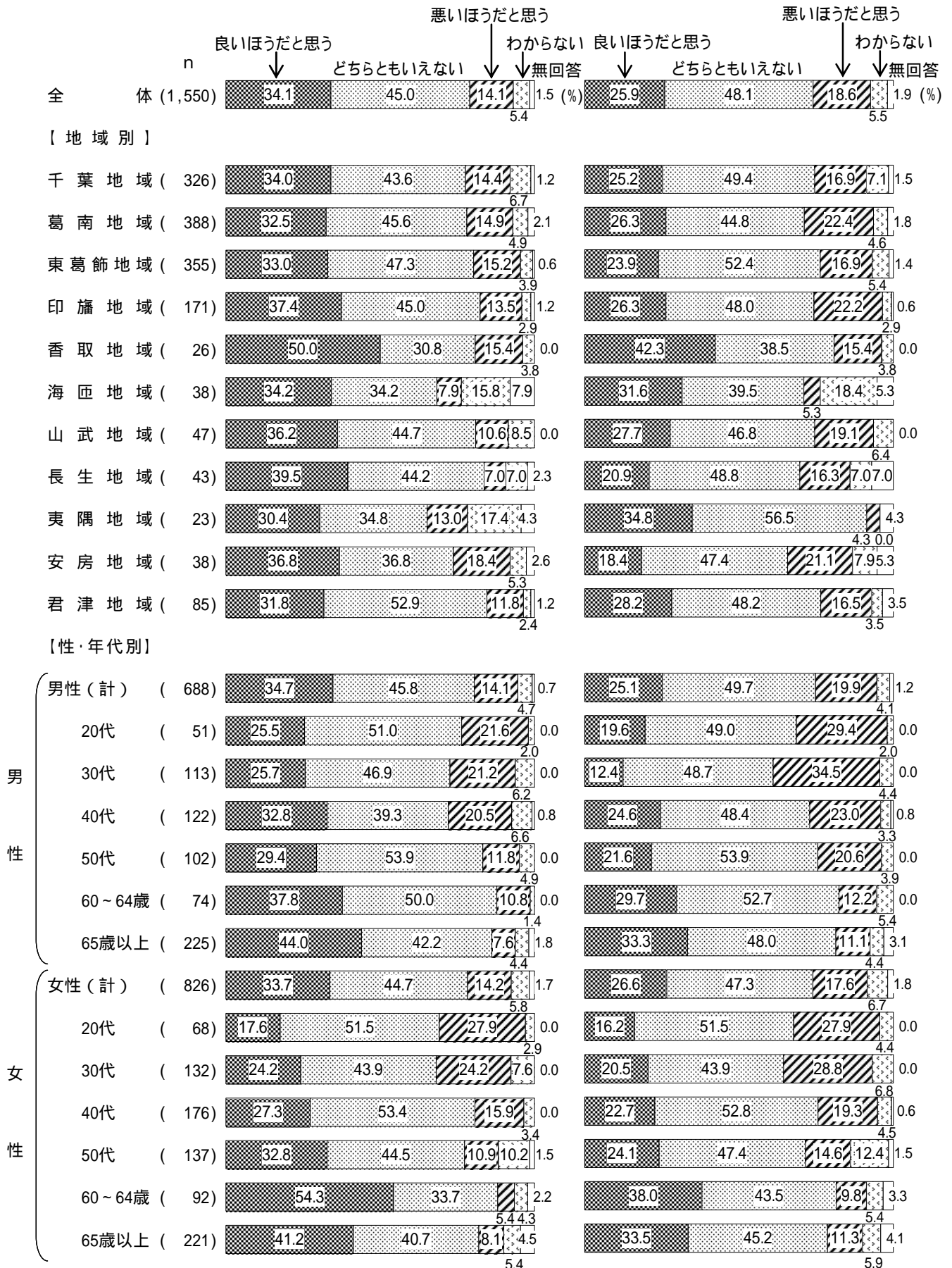
（エ）文化施設について



<図表1 - 13> 自然・周辺環境について / 地域別、性・年代別

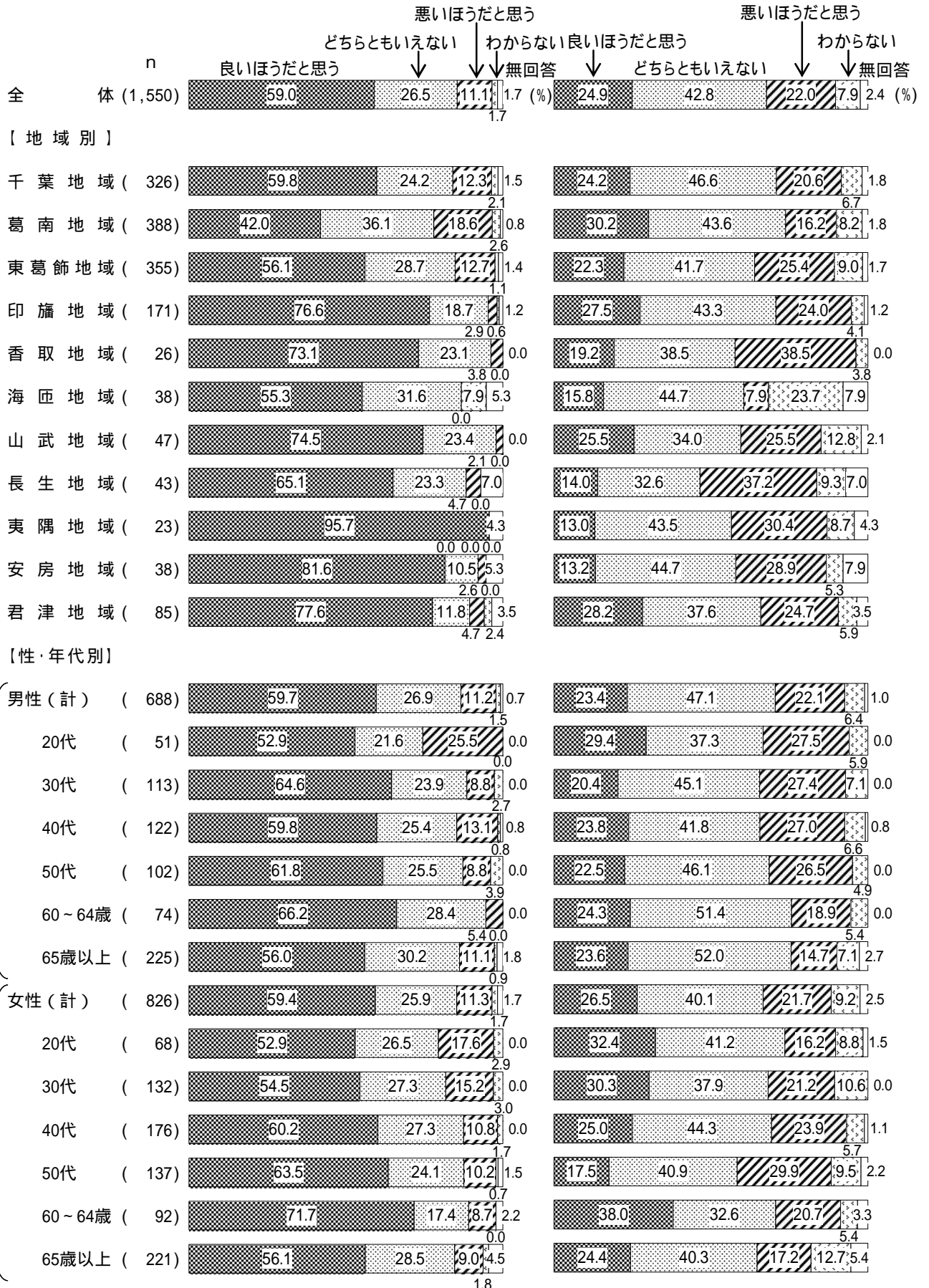
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

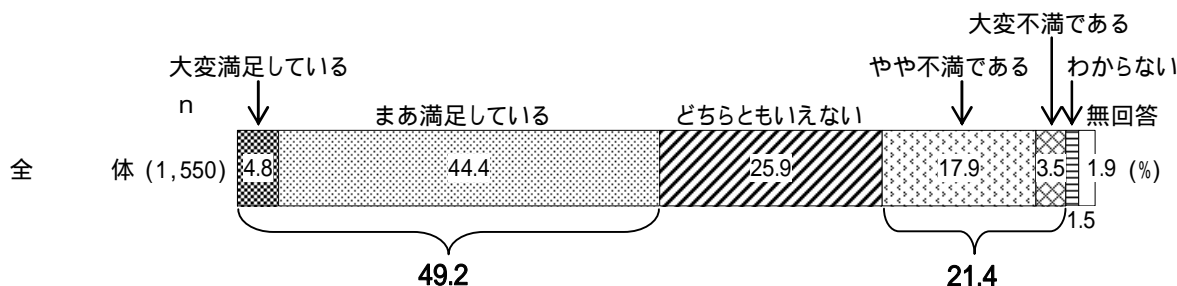


(5) 自然・周辺環境全般の満足度

『満足している』は約5割

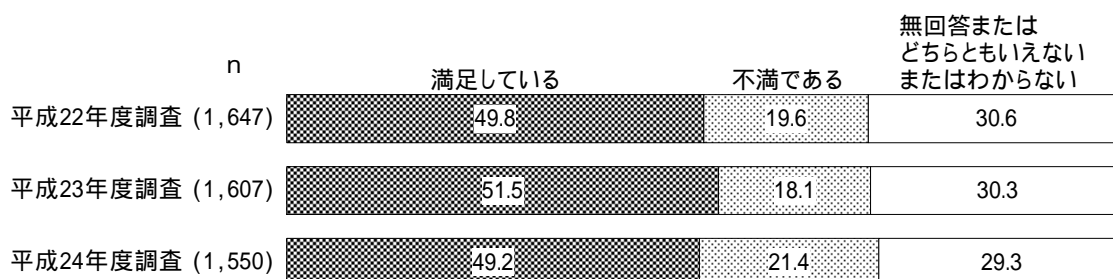
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような自然・周辺環境全般について満足していますか。(は1つ)

<図表1-14> 自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.8%)と「まあ満足している」(44.4%)を合わせた『満足している』(49.2%)は約5割となっている。一方、「やや不満である」(17.9%)と「大変不満である」(3.5%)を合わせた『不満である』(21.4%)は2割を超えている。(図表1-14)

〔参考〕平成22年度・平成23年度調査の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



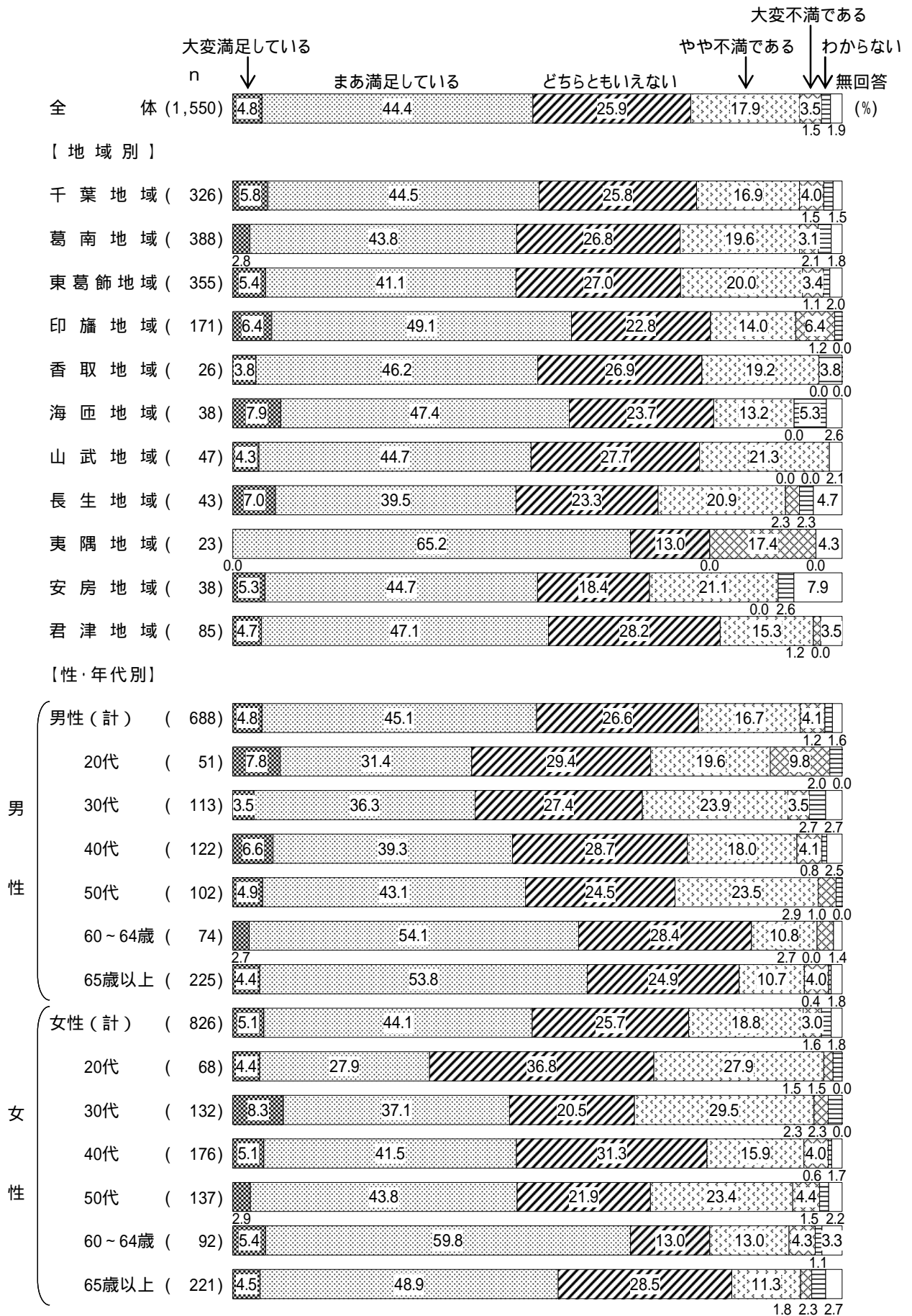
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(65.2%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-15)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の60～64歳(65.2%)が6割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は女性の30代(31.8%)が3割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-15)

<図表1 - 15> 自然・周辺環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



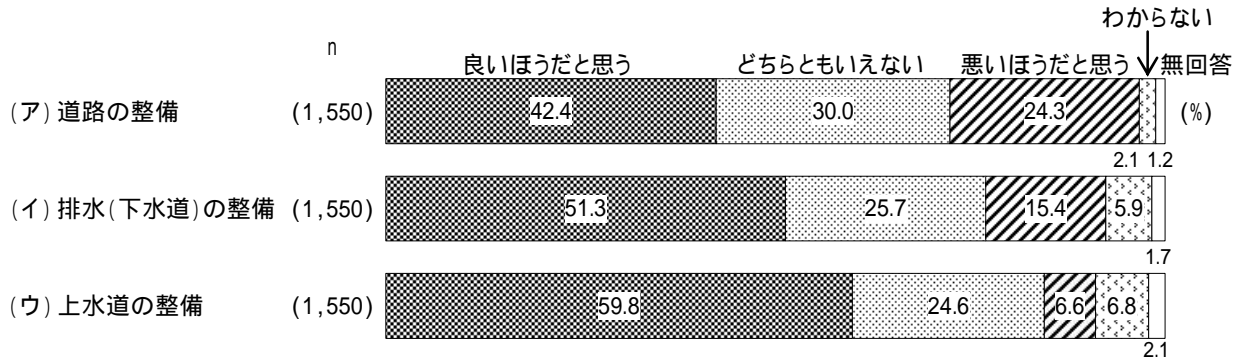
(6) 基盤整備について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 上水道の整備 で約6割

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(はそれぞれ1つずつ)

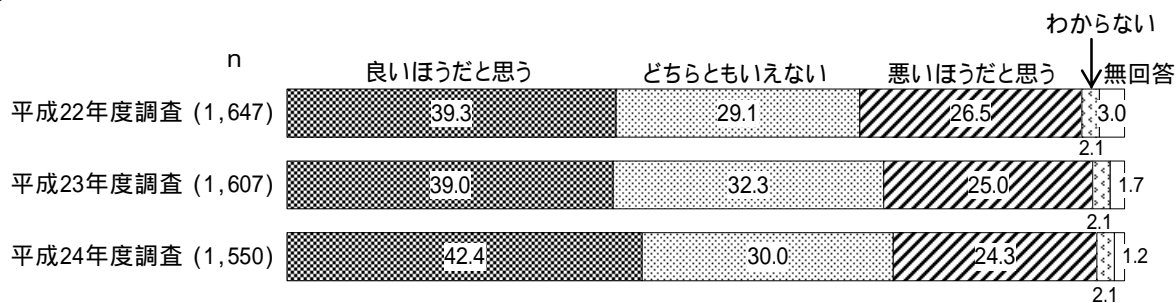
<図表1 - 16> 基盤整備について



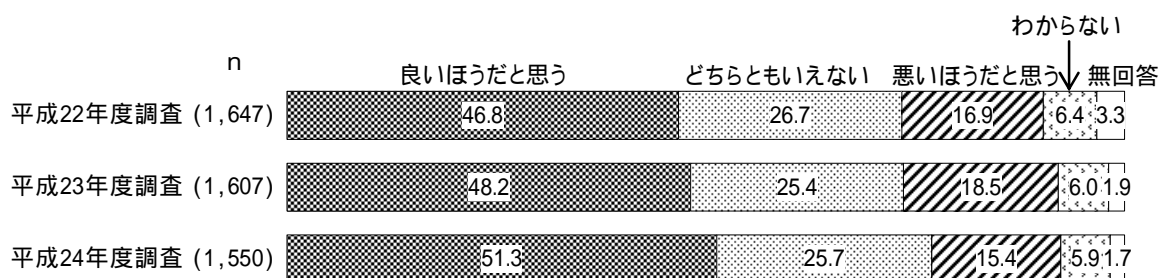
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、上水道の整備 (59.8%) で約6割となっている。次いで、排水(下水道)の整備 (51.3%) が5割を超え、道路の整備 (42.4%) が4割を超えている。(図表1 - 16)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

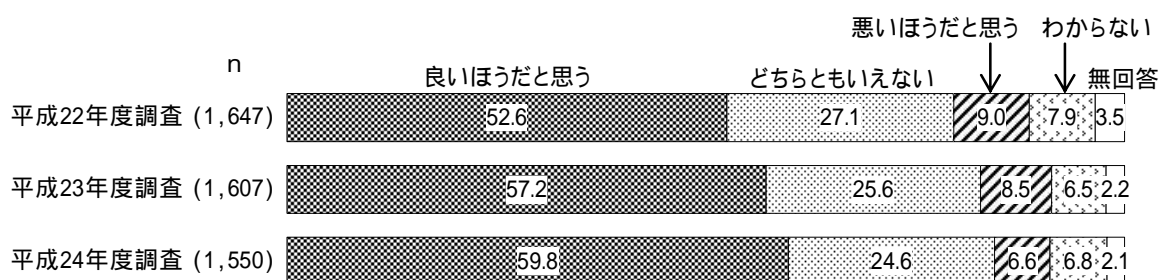
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、道路の整備において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（56.1％）が5割台半ばで、“夷隅地域”（52.2％）が5割を超えており、「悪いほうだと思う」は“香取地域”（30.8％）“印旛地域”（30.4％）“葛南地域”（30.2％）が3割以上となっている。排水（下水道）の整備において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（61.7％）が6割を超えている。一方、「悪いほうだと思う」は“香取地域”（34.6％）が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。上水道の整備において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（64.7％）“東葛飾地域”（63.7％）が6割台半ばとなっている。（図表1-17）

【性・年代別】

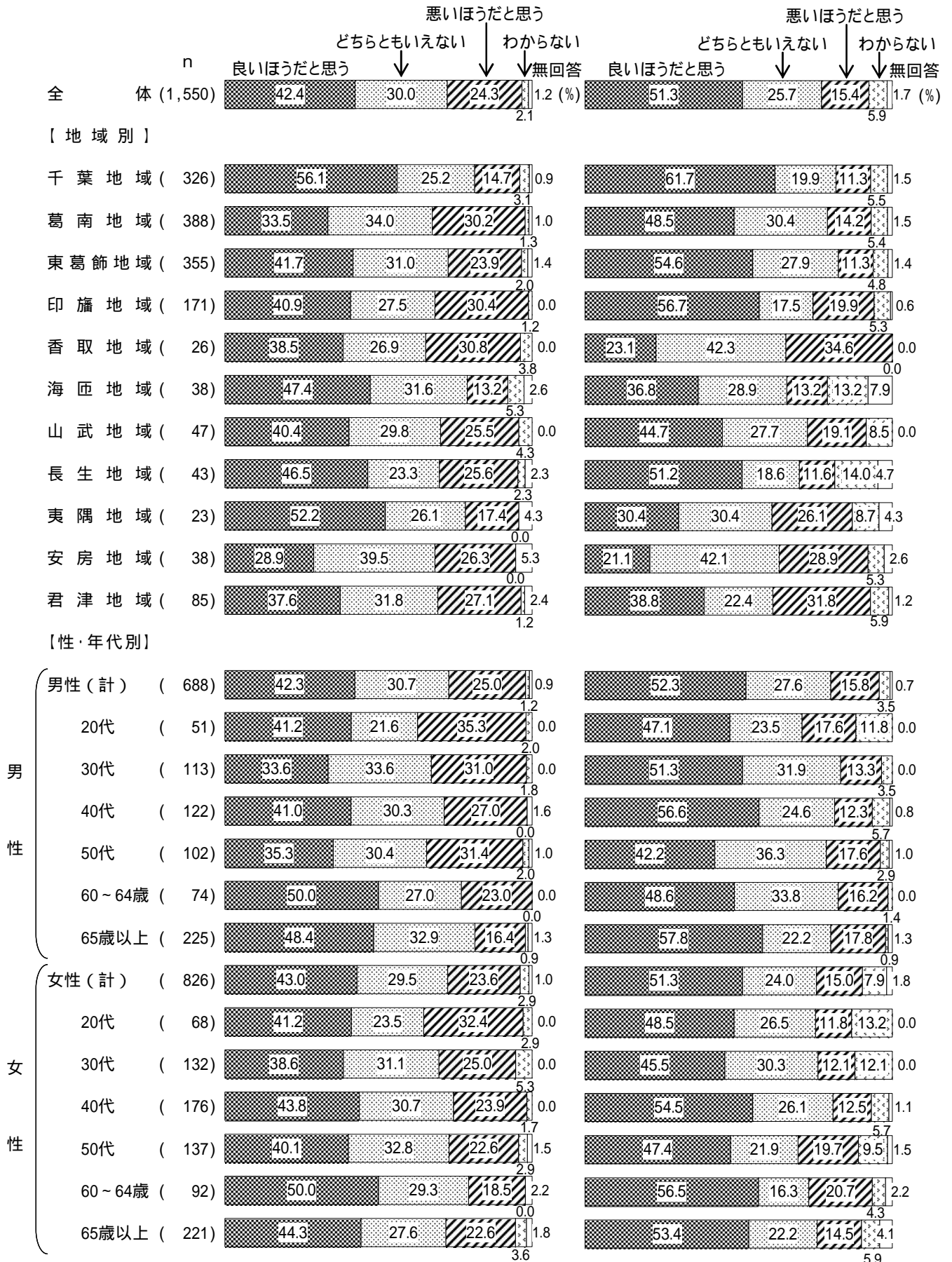
性・年代別にみると、道路の整備において、「良いほうだと思う」は男女とも60～64歳（50.0％）が5割で他の年代に比べて高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代（35.3％）が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。排水（下水道）の整備において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（57.8％）が約6割で他の年代に比べて高くなっている。上水道の整備において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（71.1％）が7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。

（図表1-17）

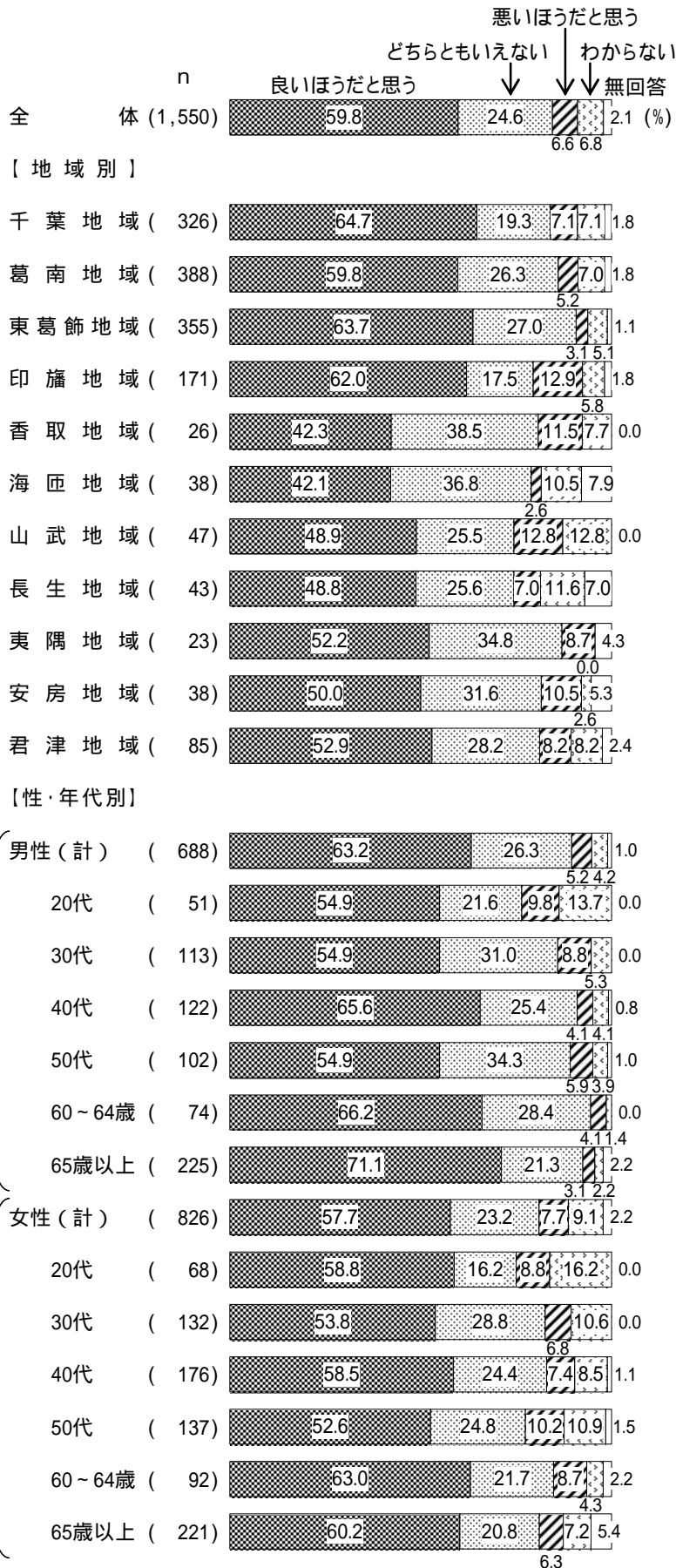
<図表1 - 17> 基盤整備について / 地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備

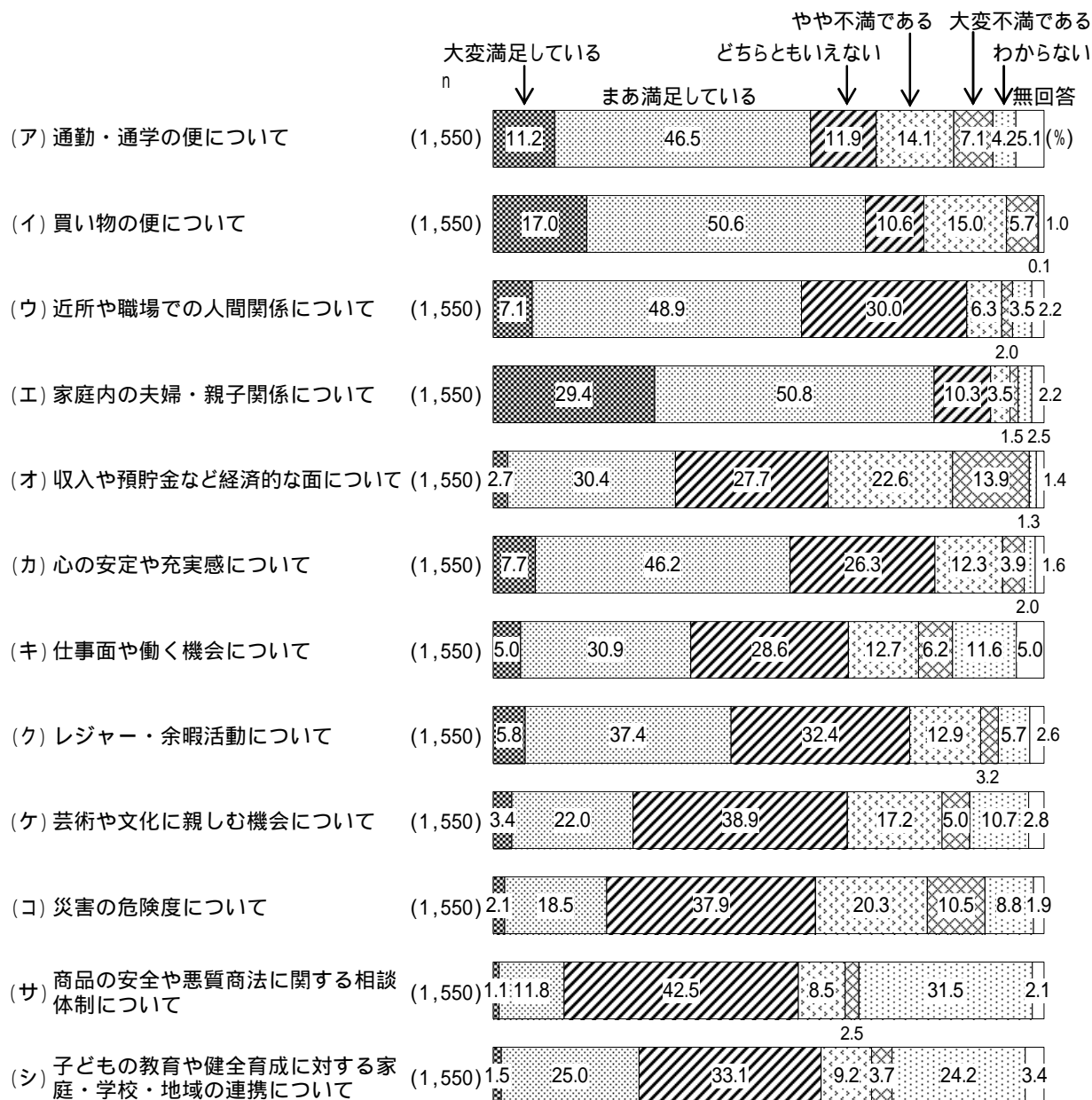


(7) 現在の生活の満足度

『満足している』が最も高いのは 家庭内の夫婦・親子関係について で8割

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(はそれぞれ1つずつ)

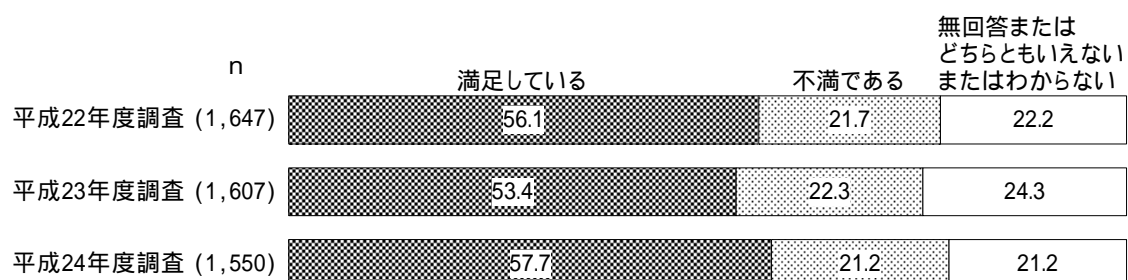
<図表1-18> 現在の生活の満足度



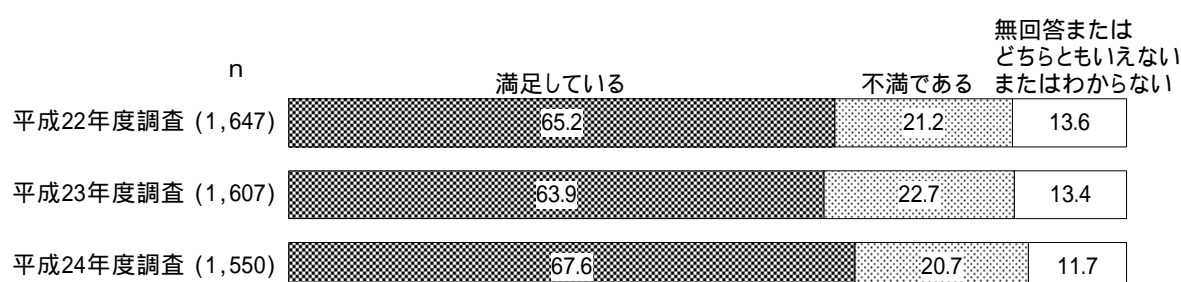
現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、家庭内の夫婦・親子関係について（80.2%）で8割となっている。以下、買い物の便について（67.6%）、通勤・通学の便について（57.7%）と続く。一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』の割合は、収入や預貯金など経済的な面について（36.5%）が3割台半ば、災害の危険度について（30.8%）が3割となっており、この2項目では、『不満である』の割合が『満足している』の割合を上回っている。（図表1-18）

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

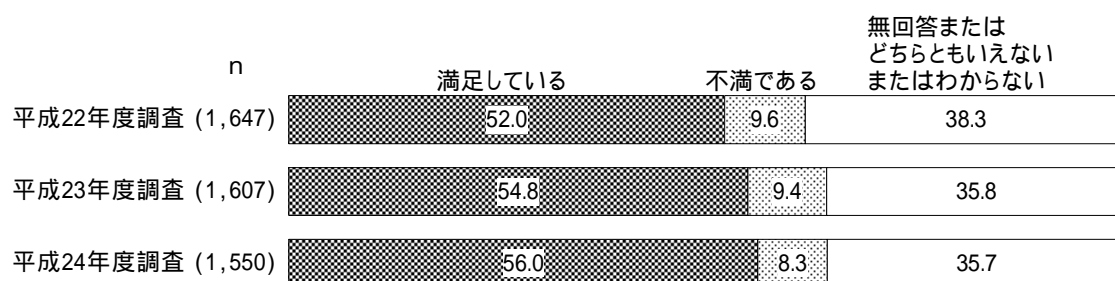
（ア）通勤・通学の便について



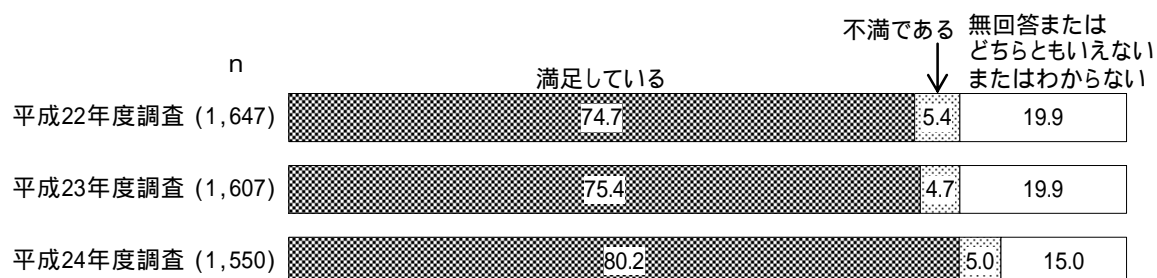
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

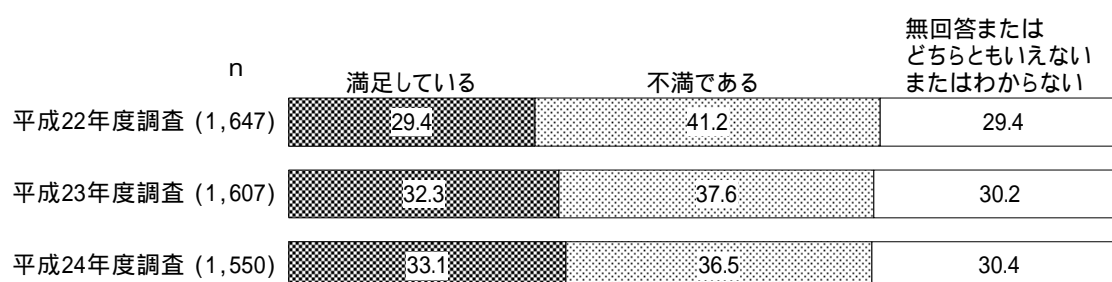


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

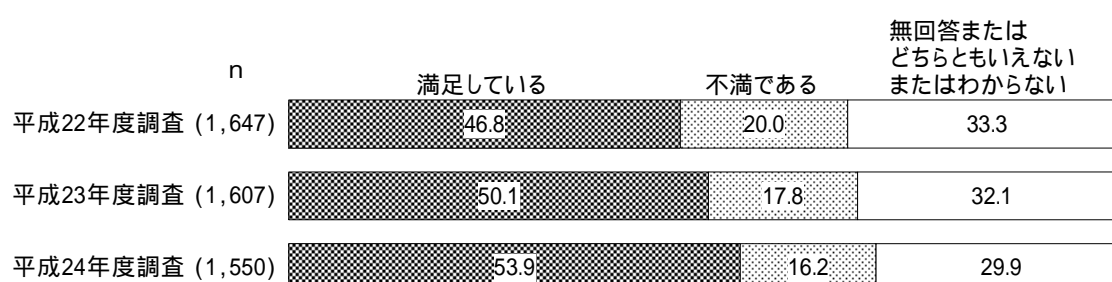


〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

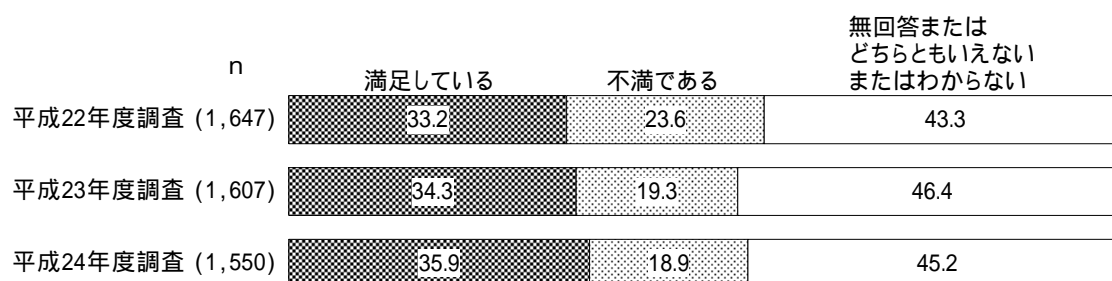
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



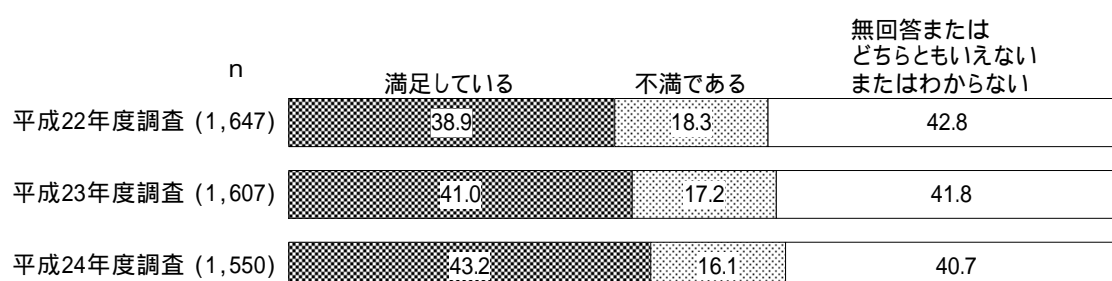
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について

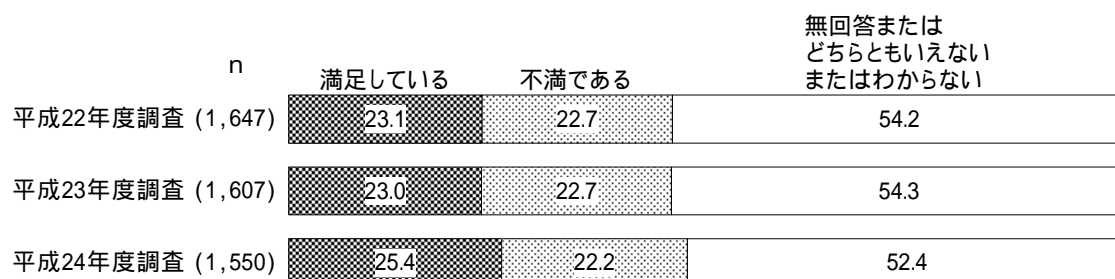


（ク）レジャー・余暇活動について

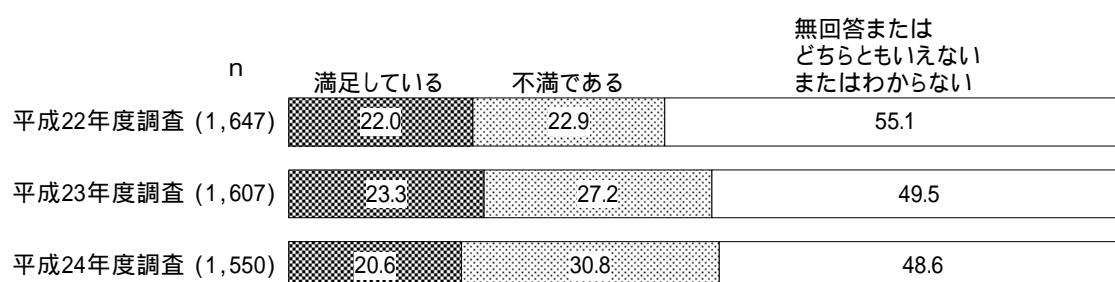


〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

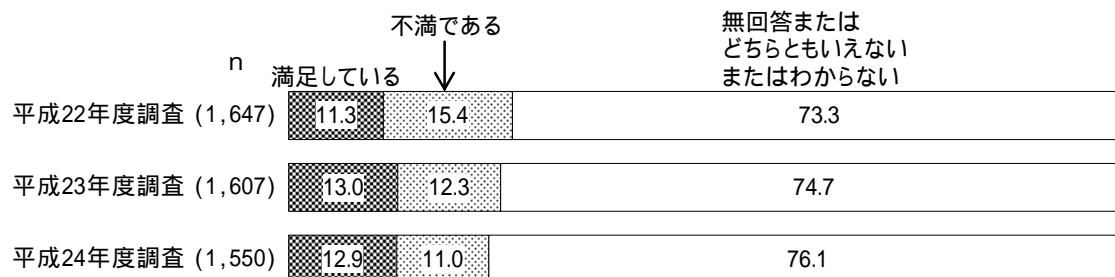
（ケ）芸術や文化に親しむ機会について



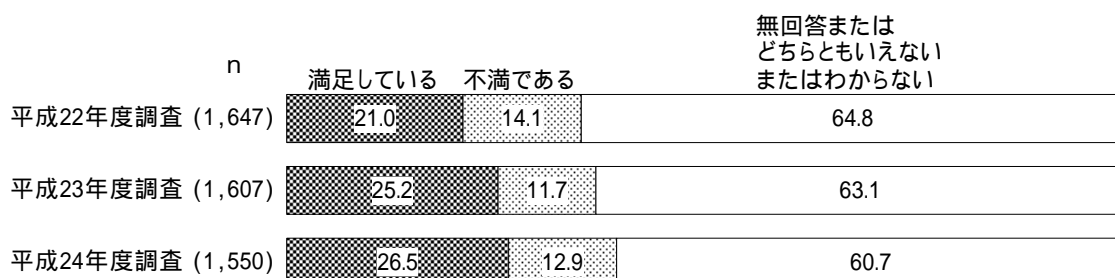
（コ）災害の危険度について



（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



【地域別】

地域別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は“葛南地域”(67.5%)が約7割となっている。

買い物の便について において、『満足している』は“葛南地域”(74.7%)が7割台半ばとなっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』は“夷隅地域”(60.9%)と“印旛地域”(60.8%)が6割となっている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』は“長生地域”(86.1%)が8割台半ばとなっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は“香取地域”(38.5%)と“東葛飾地域”(37.5%)が約4割となっている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は“印旛地域”(57.8%)と“東葛飾地域”(57.2%)が約6割となっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は“千葉地域”(40.2%)が4割となっている。一方、『不満である』は“山武地域”(42.5%)で4割を超え、“香取地域”(38.4%)で約4割となっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は“葛南地域”(46.9%)、 “東葛飾地域”(46.2%)、 “千葉地域”(44.4%)、 “長生地域”(44.2%)、 “夷隅地域”(43.5%)が4割台半ばとなっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は“君津地域”(29.4%)と“葛南地域”(28.8%)が約3割となっている。

災害の危険度について において、『満足している』は“夷隅地域”(34.7%)、 “香取地域”(34.6%)、 “印旛地域”(34.5%)で3割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“長生地域”(48.9%)、 “安房地域”(47.4%)で約5割となっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『不満である』は“香取地域”(30.8%)が3割となっている。

子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は“香取地域”(34.6%)と“印旛地域”(33.3%)が3割台半ばとなっている。(図表1 - 19)

【性・年代別】

性・年代別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は女性の30代(68.1%)が約7割となっている。

買い物の便について において、『満足している』は女性の30代(73.5%)、 40代(73.3%)、 60~64歳(73.9%)が7割台半ばとなっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』はすべての性・年代で5割を超えており、特に女性の60~64歳(66.3%)と男性の20代(64.7%)で6割台半ばとなっている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』はすべての性・年代で7割台半ば以上となっており、特に女性の30代(87.1%)が約9割となっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は女性の60~64歳(44.6%)が4割台半ばとなっている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は女性の20代(63.2%)が6割台半ばとなっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は男性の50代（53.0%）が5割台半ばとなっている。一方、『不満である』は女性の20代（29.5%）、女性の30代（28.0%）で約3割となっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は女性の20代（55.9%）、30代（53.0%）が5割台半ばとなっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は女性の20代（38.2%）が約4割となっている。

災害の危険度について では、『不満である』は女性の20代（44.1%）が4割台半ばとなっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『満足している』は女性の60～64歳（18.5%）が他の年代に比べて最も高くなっている。

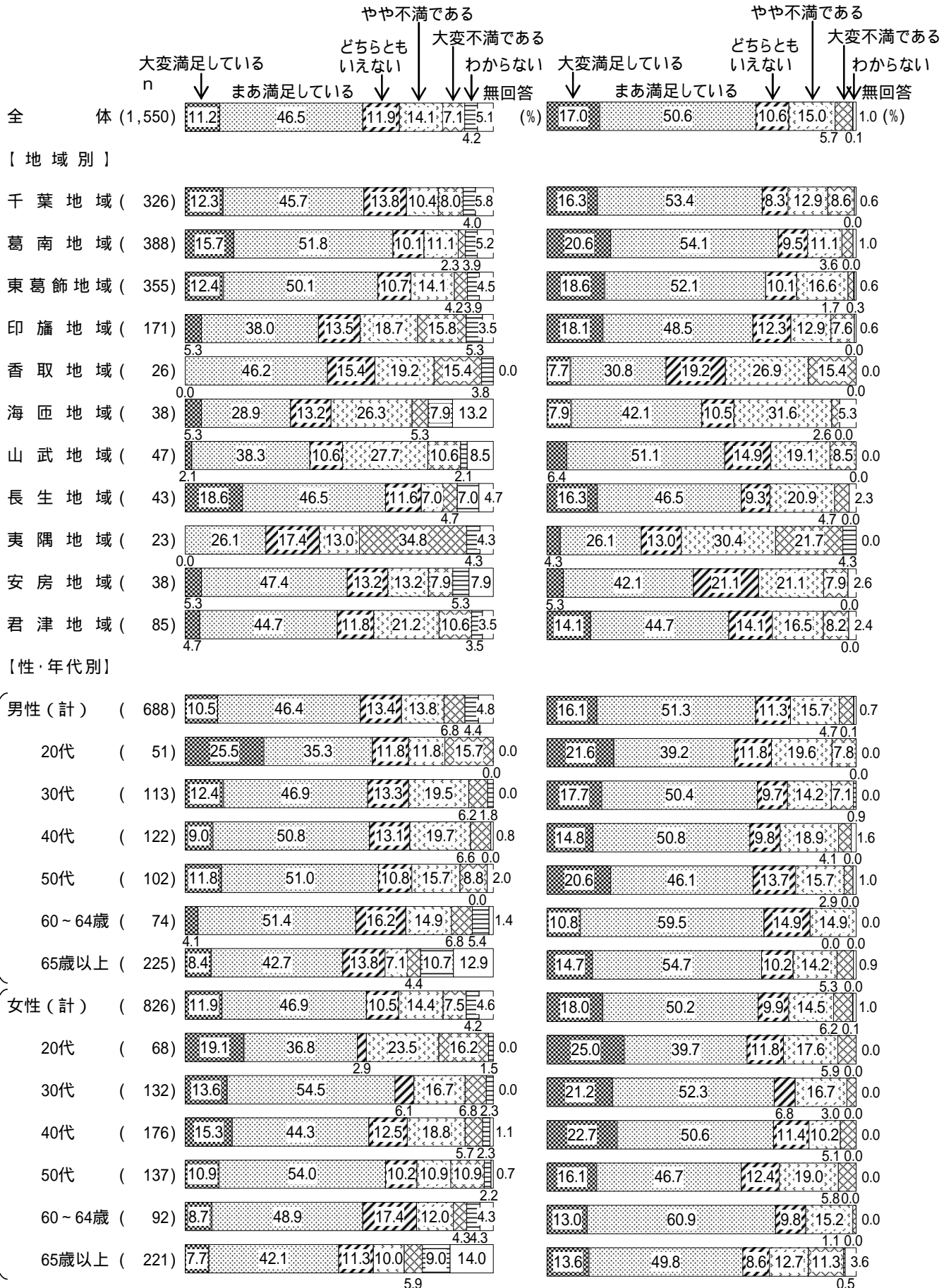
子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は女性の30代（33.3%）、40代（36.4%）、60～64歳（34.8%）が3割台半ばとなっている。

（図表1 - 19）

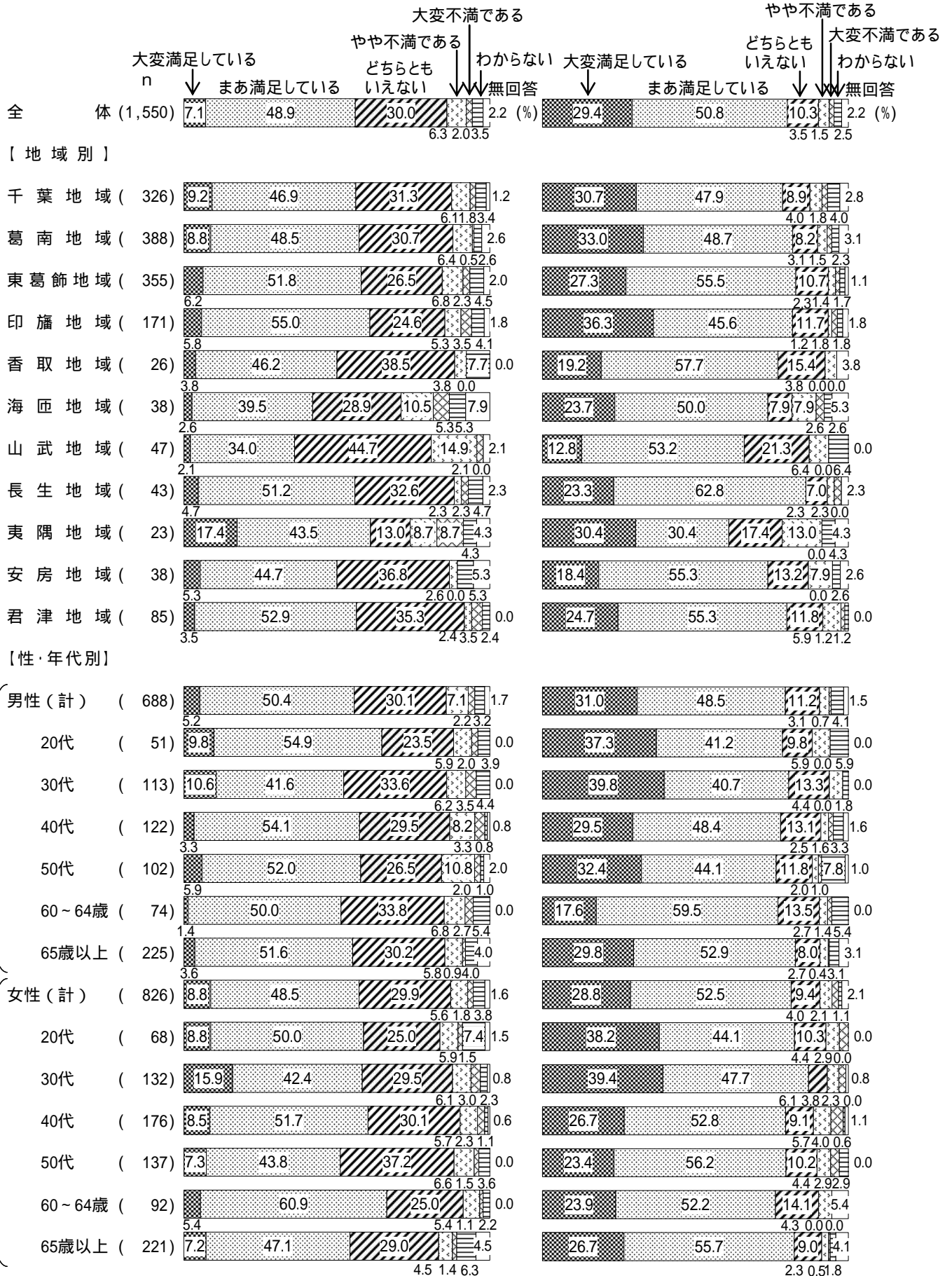
<図表1 - 19> 現在の生活の満足度 / 地域別、性・年代別

(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について

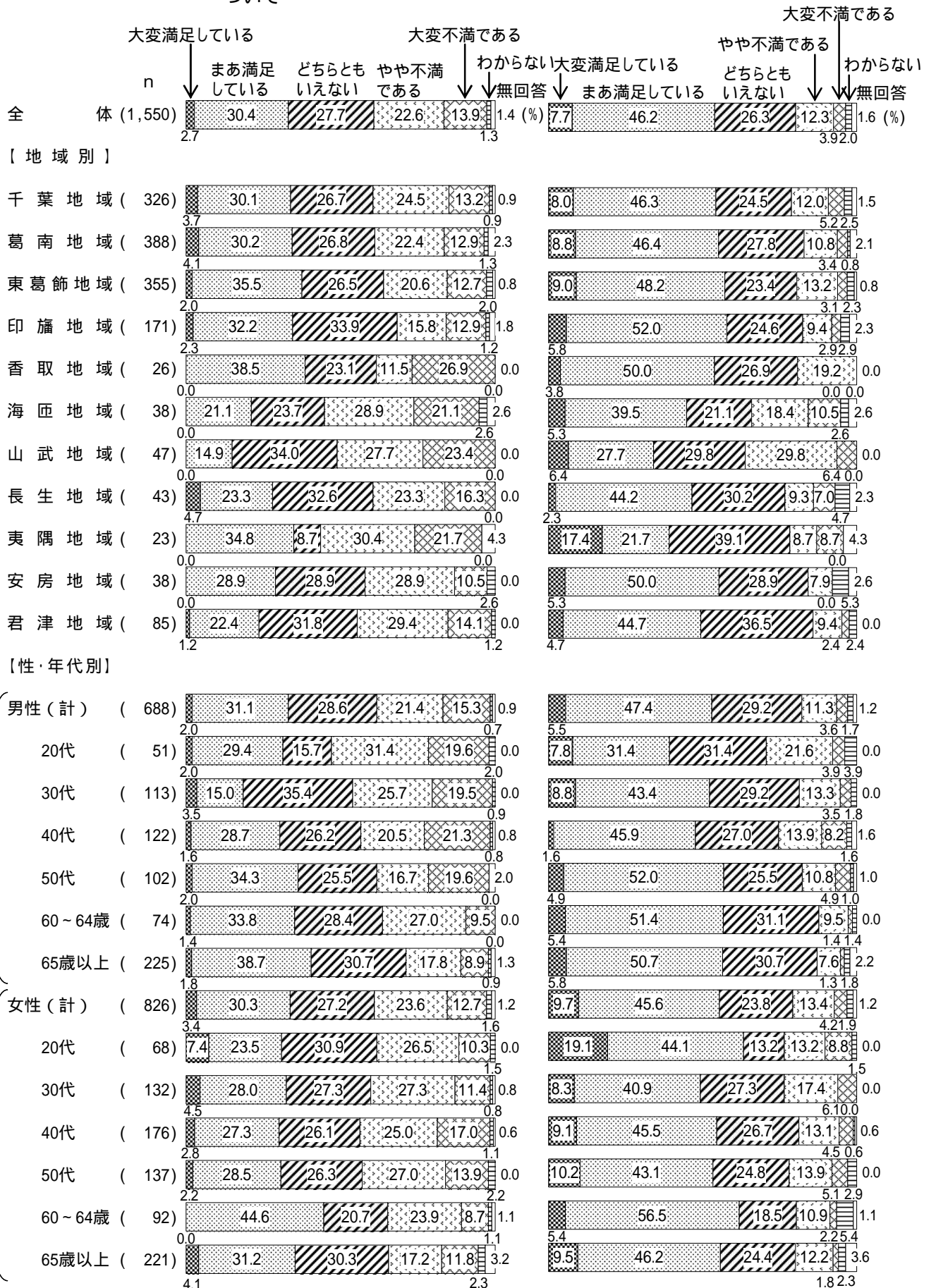


(ウ) 近所や職場での人間関係について (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



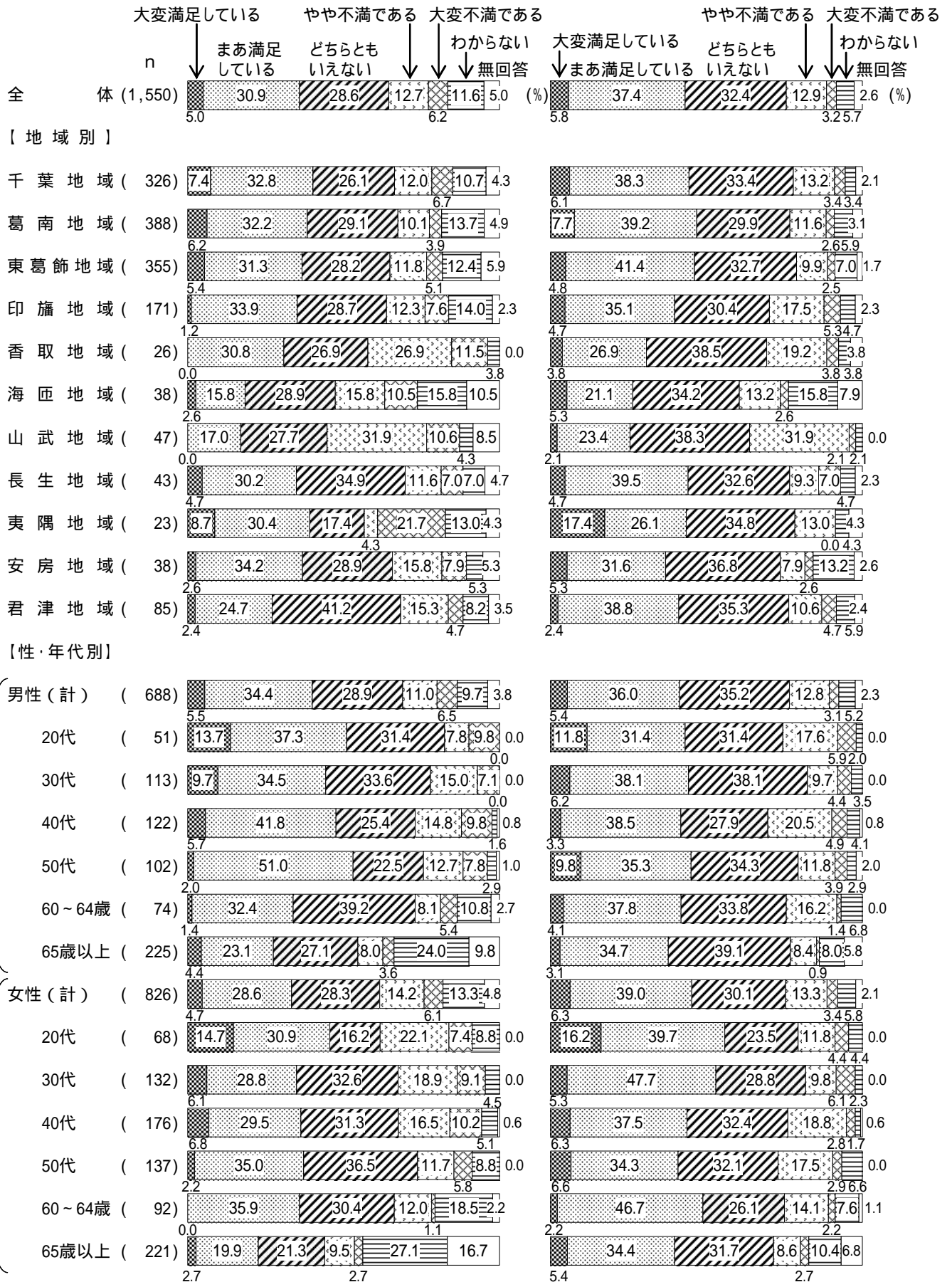
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

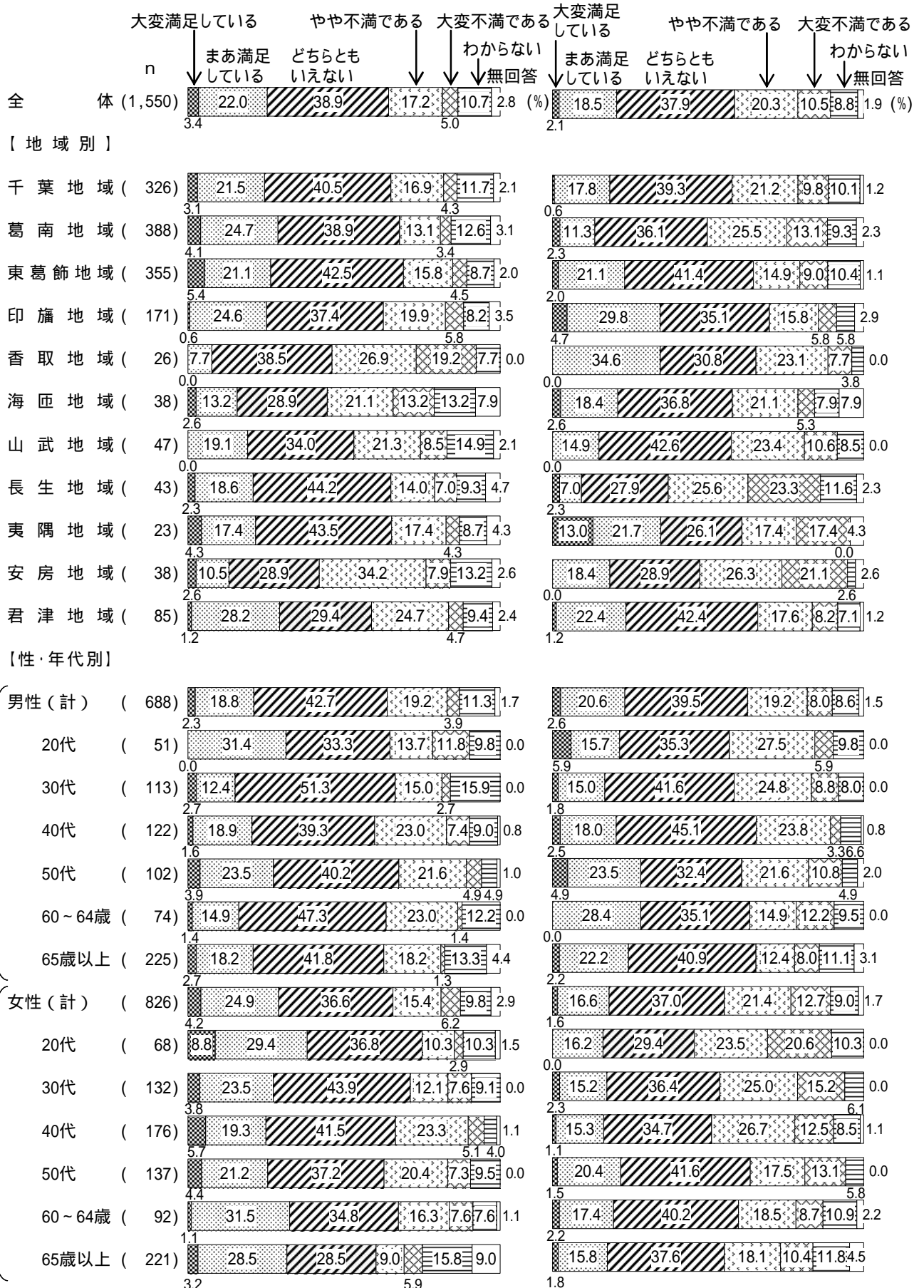


(キ) 仕事面や働く機会について

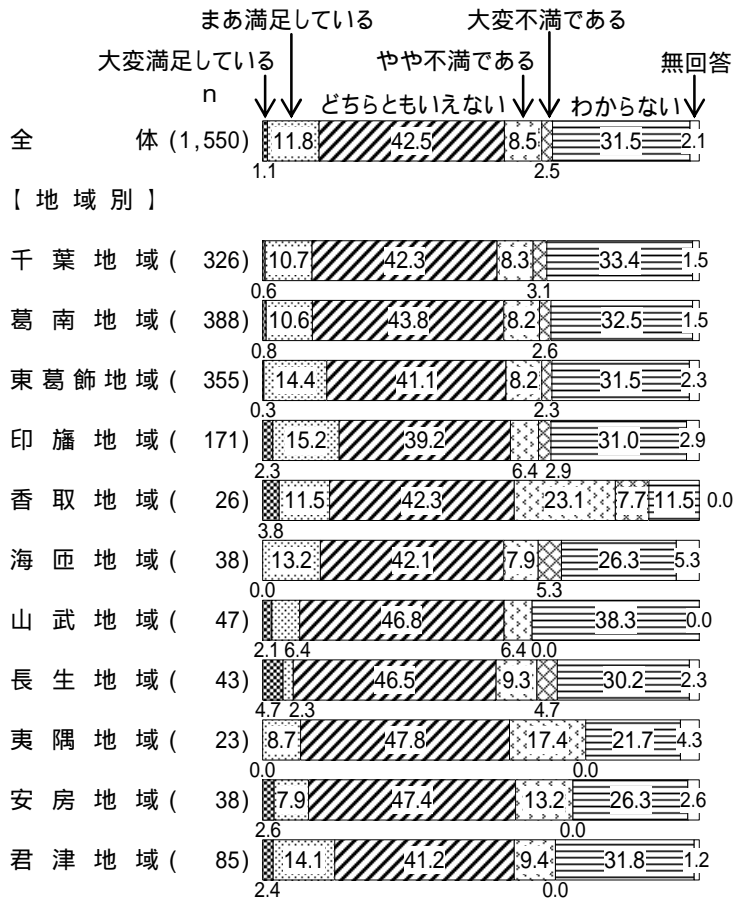
(ク) レジャー・余暇活動について



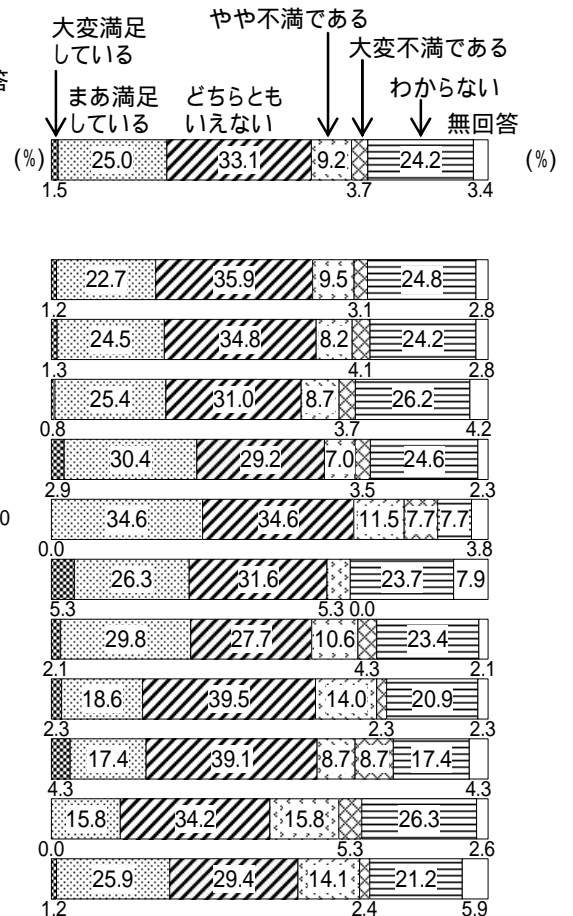
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 災害の危険度について



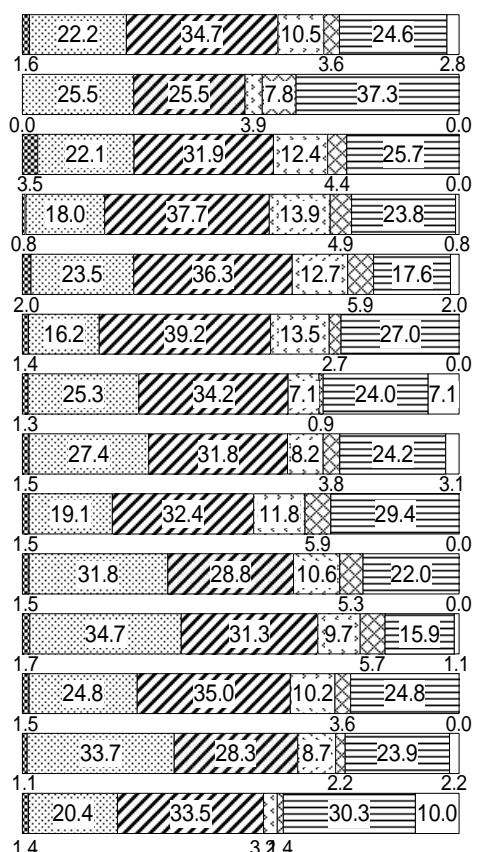
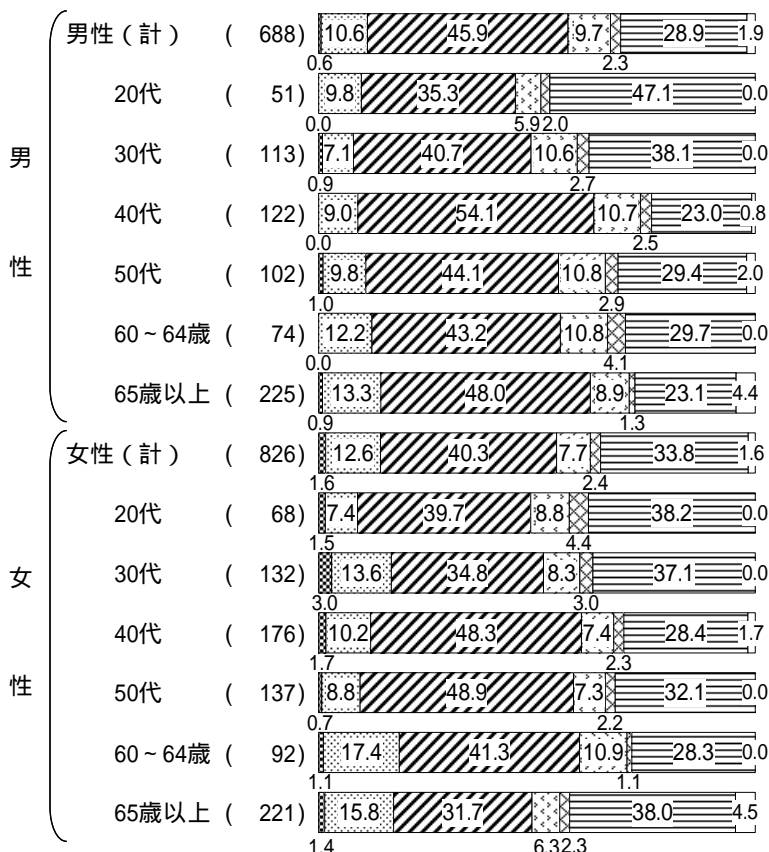
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について



(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について



【性・年代別】

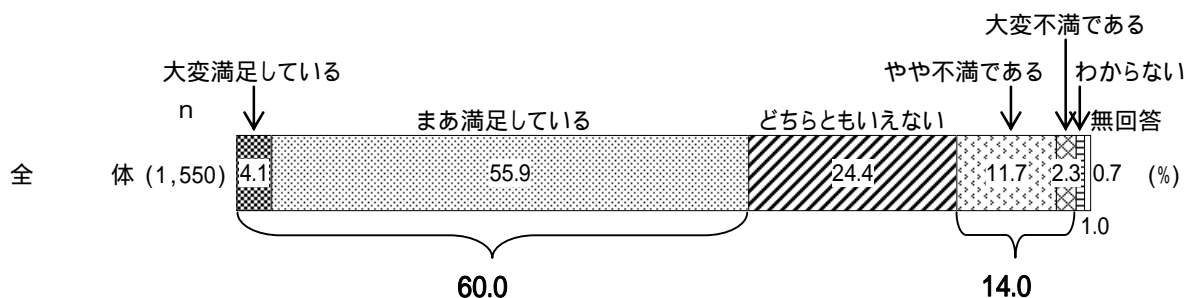


(8) 住生活全般の満足度

『満足している』が6割

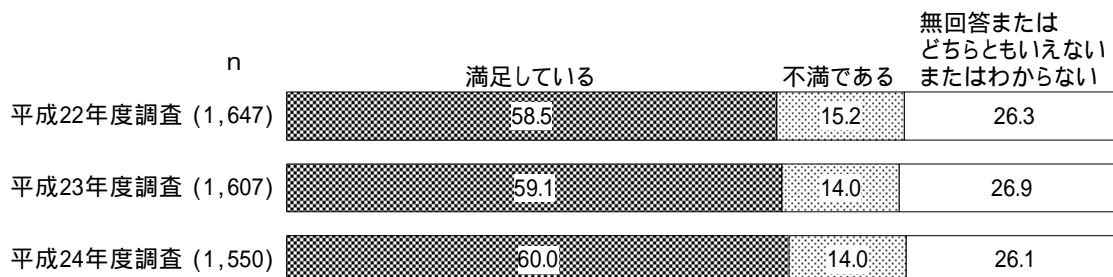
問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。
（は1つ）

<図表1-20> 住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.1%）と「まあ満足している」（55.9%）を合わせた『満足している』（60.0%）は6割となっている。一方、「やや不満である」（11.7%）と「大変不満である」（2.3%）を合わせた『不満である』（14.0%）は1割台半ばとなっている。（図表1-20）

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



【地域別】

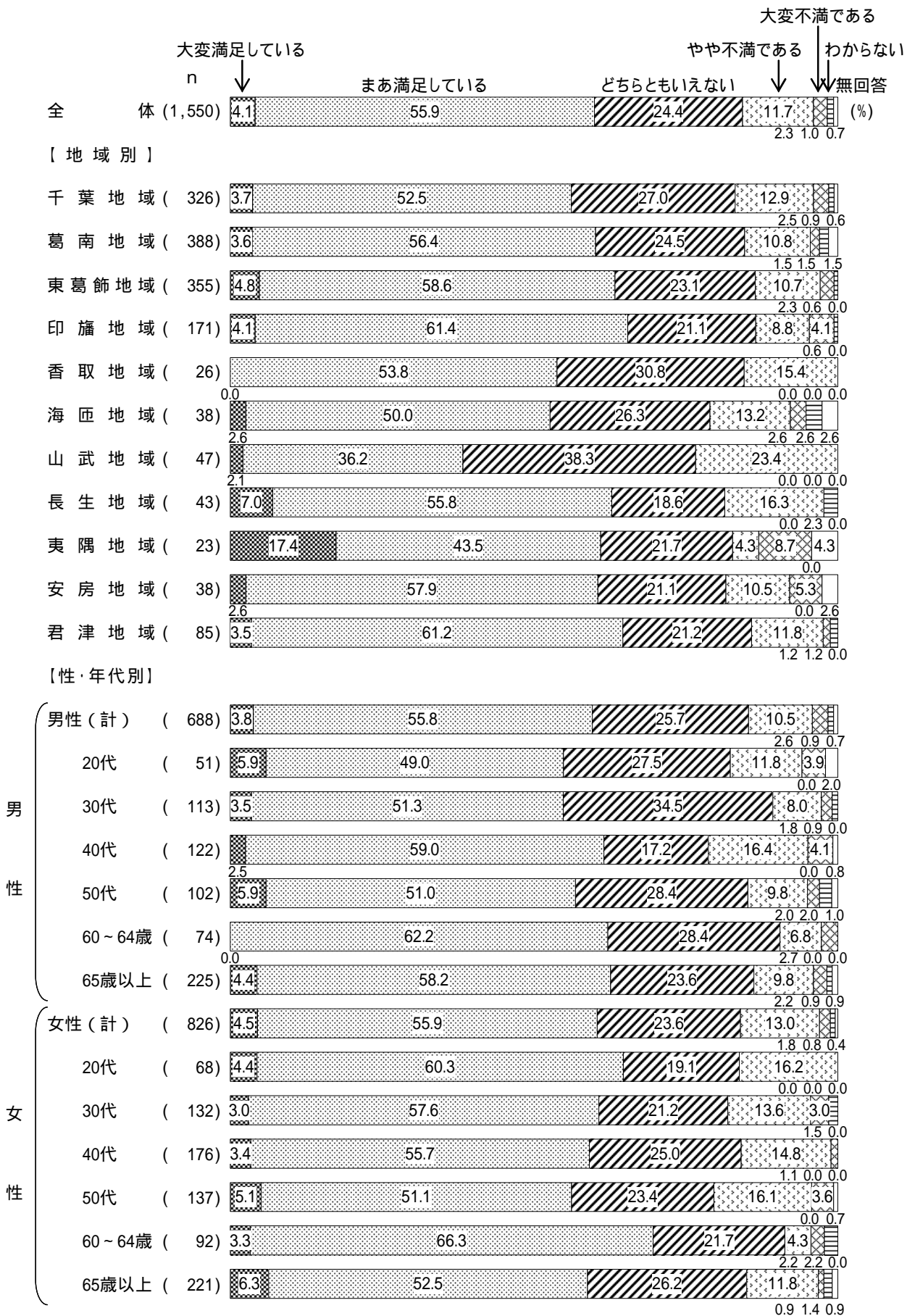
地域別にみると、『満足している』は“山武地域”（38.3%）が約4割で他の地域に比べて低くなっている。（図表1-21）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の60～64歳（69.6%）が約7割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の40代（20.5%）が2割で最も高くなっている。

（図表1-21）

<図表1 - 21> 住生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別



(9) 市民活動団体の活動の認知度

『知っている』は約6割

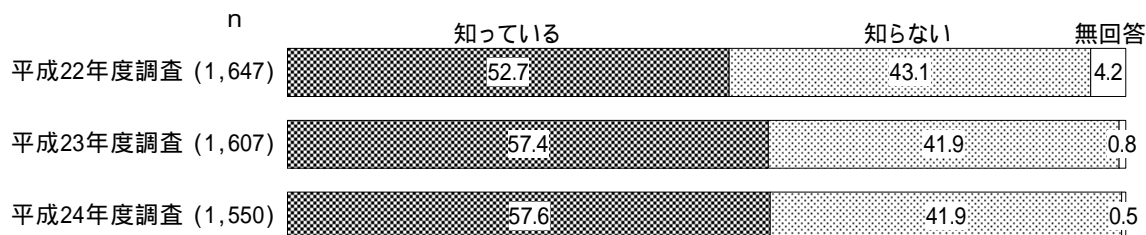
問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。(は1つ)

<図表1 - 22> 市民活動団体の活動の認知度



市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている(聞いたことがある)」(52.6%) は5割を超えて最も高く、これと「よく知っている」(5.0%)の2つを合わせた『知っている』(57.6%) は約6割となっている。一方、「知らない」(41.9%) は4割を超えている。(図表1 - 22)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



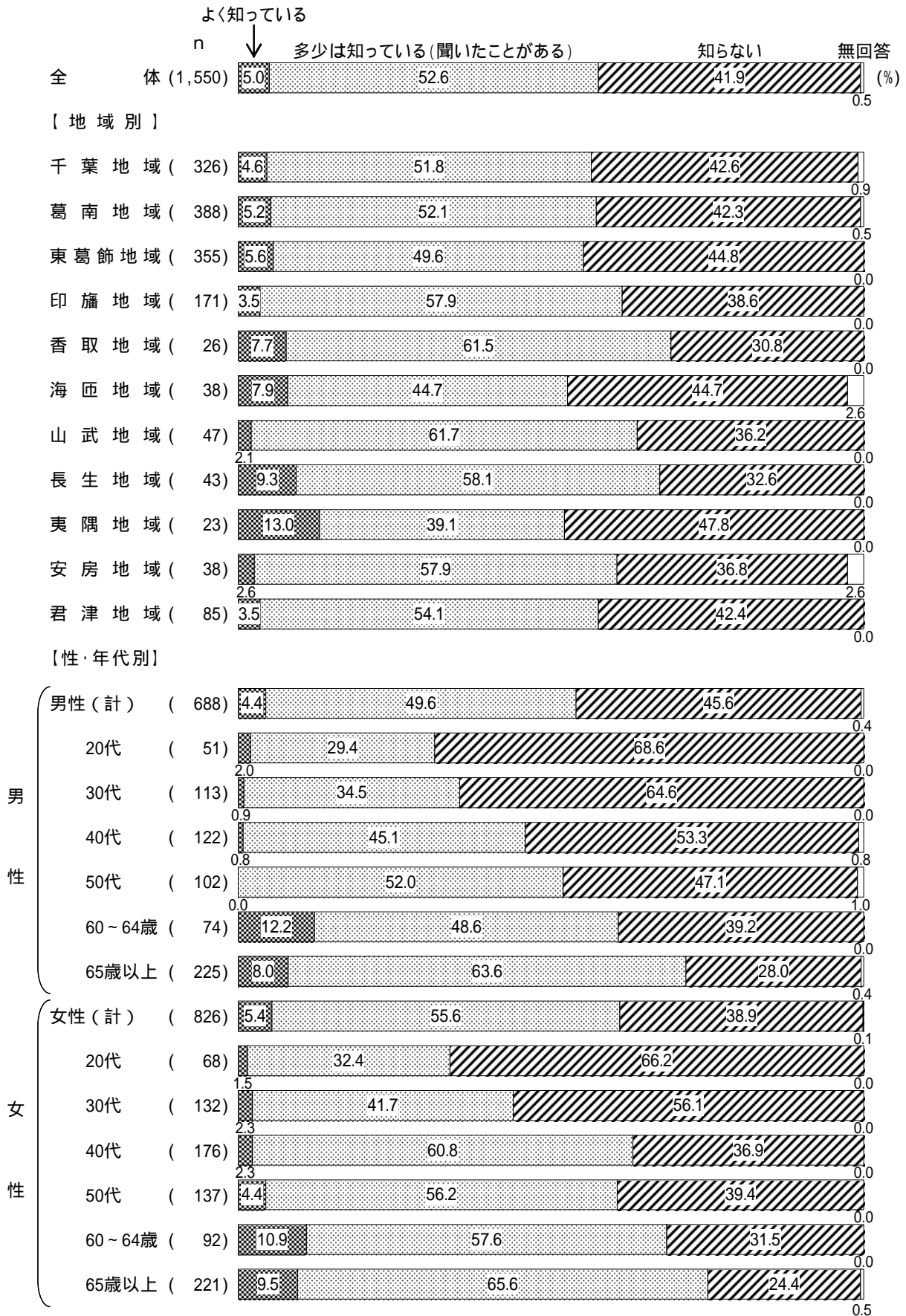
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“香取地域”(69.2%)、“長生地域”(67.4%)が約7割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(75.1%)が7割台半ばと高くなっている。(図表1 - 23)

<図表1 - 23> 市民活動団体の活動の認知度 / 地域別、性・年代別



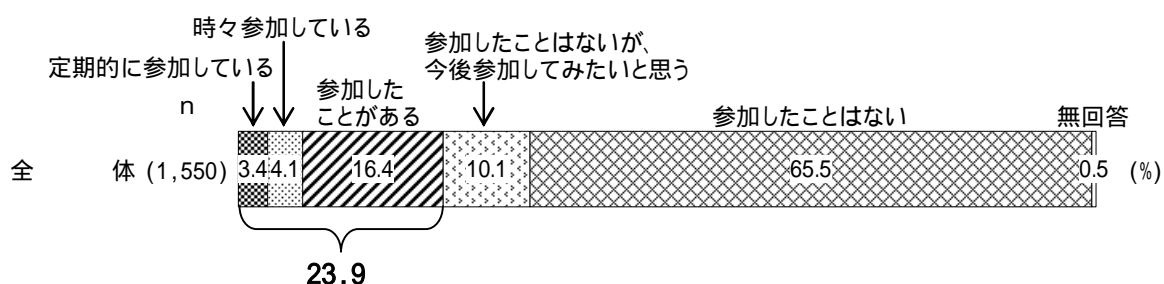
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

「参加したことはない」は6割台半ば

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(は1つ)

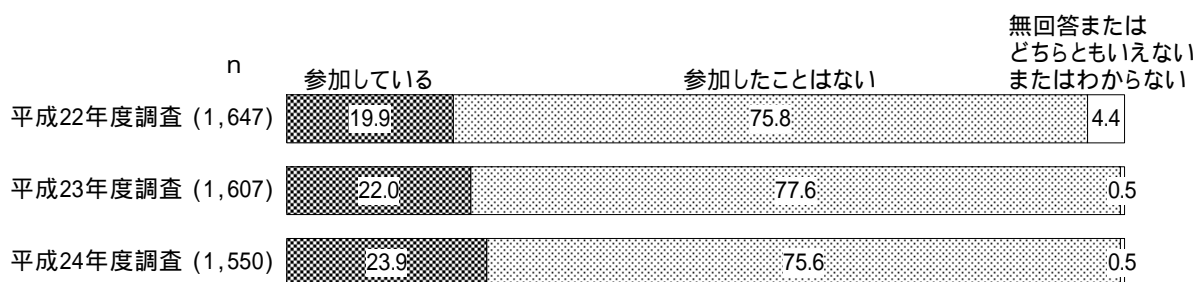
(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

<図表1-24> 市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.4%)と「時々参加している」(4.1%)、「参加したことがある」(16.4%)の3つを合わせた『参加している』(23.9%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(10.1%)は1割、「参加したことはない」(65.5%)は6割台半ばとなっている。(図表1-24)

〔参考〕平成22年度・平成23年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



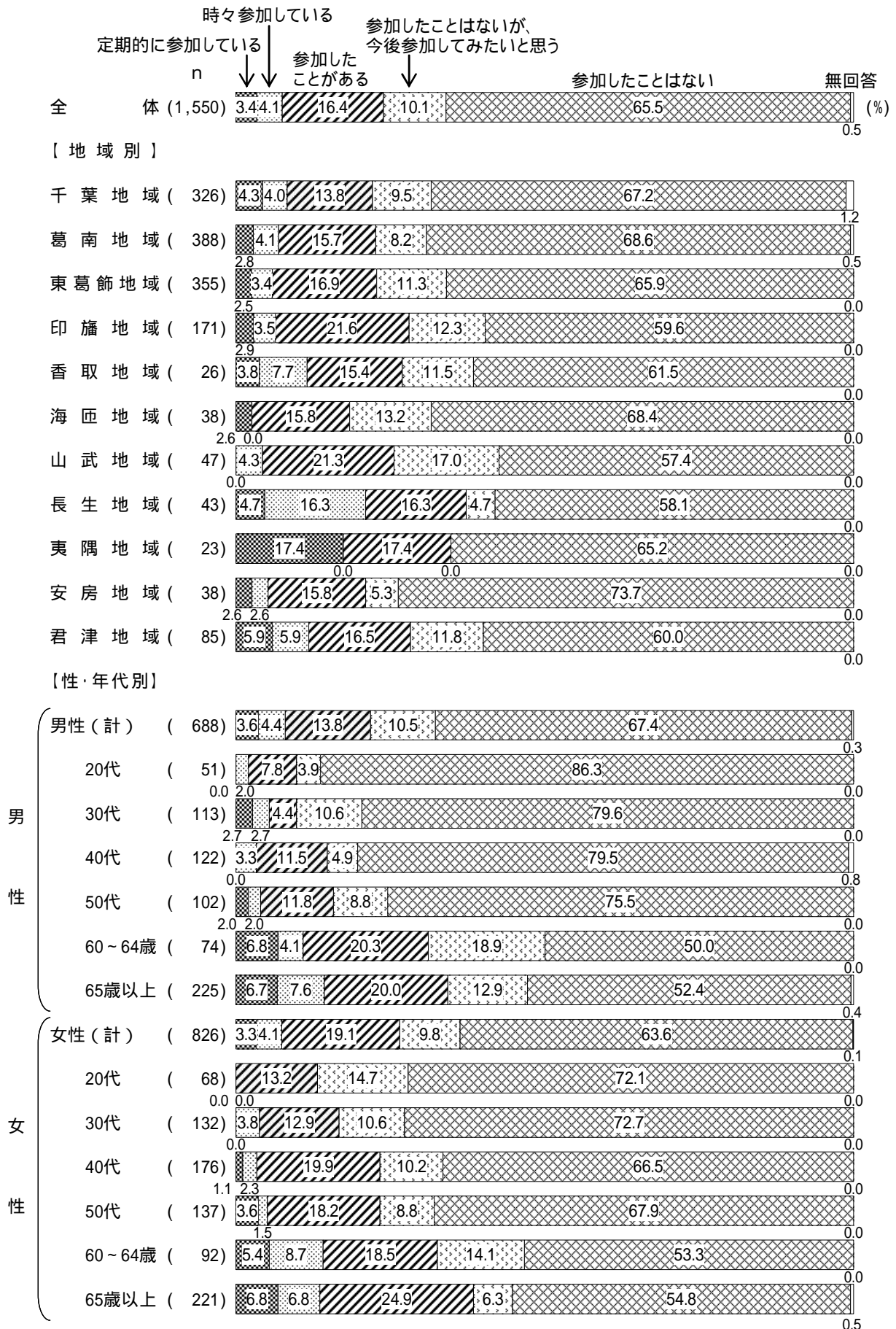
【地域別】

地域別にみると、『参加している』は“長生地域”(37.3%)が約4割、“夷隅地域”(34.8%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向があり、特に女性の65歳以上(38.5%)が約4割、男性の65歳以上(34.3%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表1-25)

<図表1 - 25> 市民活動団体の活動への参加経験 / 地域別、性・年代別



(11) ボランティア活動経験

「活動したことがある」は約2割

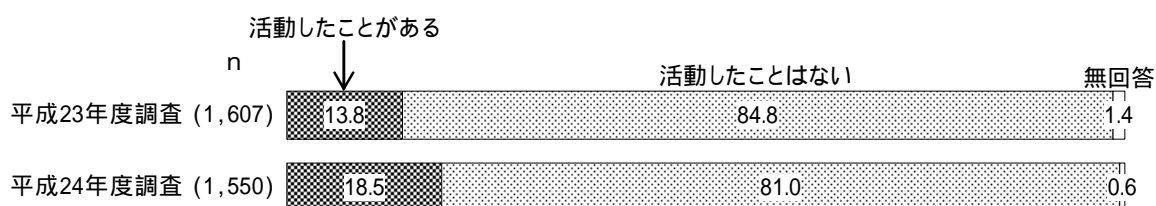
問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。(は1つ)

<図表1 - 26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「活動したことがある」(18.5%)は約2割となっている。一方、「活動したことはない」(81.0%)は8割を超えている。(図表1 - 26)

〔参考〕平成23年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

地域別にみると、「活動したことがある」は“夷隅地域”(30.4%)が3割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことがある」は女性の65歳以上(31.2%)が3割を超え、男性の60~64歳(25.7%)と65歳以上(24.9%)が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。

(図表1 - 27)

<図表1 - 27> ボランティア活動経験 / 地域別、性・年代別

